

令和8（2026）年度

大学院学生募集要項

〔修士課程〕

一般入学試験
社会人入学試験
外国人留学生入学試験

入学試験に関する追加のお知らせがある場合は、専修大学ホームページに情報を掲載いたします。

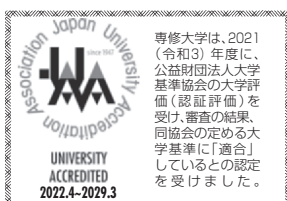


「個人情報の取扱いについて」

本学では、個人情報の保護に関する法律を遵守し、個人情報の適正な取扱いおよび最善の管理対策を講じるよう努めております。

出願にあたってご提出いただいた個人情報は、入学試験の実施、合格発表と、これらに付随する業務を行うために利用いたします。

また、個人情報は個人が特定できないように統計処理を行ったうえで、大学における入学者選抜のための調査・研究等の資料として利用されます。



専修大学大学院学生募集要項 修士課程 目次

教育目的と修了の要件	2
専修大学大学院 入学者に関する受入方針（アドミッション・ポリシー）	3
令和8（2026）年度 大学院修士課程入学試験実施区分表	5
開講する校舎について	5
コース制と入学試験制度等について	6
リサーチ・ペーパーについて	8
授与する学位	8
I. 入学試験日程・試験時間割・試験科目	9
1. 出願期間・入学試験日程	
2. 筆記試験時間割・試験科目	
■一般入学試験	
■社会人入学試験	
■外国人留学生入学試験	
II. 出願	27
1. 出願資格	
(1) 一般入学試験	
(2) 社会人入学試験	
(3) 外国人留学生入学試験	
(4) 個別の入学資格審査について	
(1) 出願資格の確認のための個別審査	
(2) 日本語能力の確認のための個別審査	
2. 入学検定料	
3. 出願書類・出願方法	
4. 入学志願書における記入上の注意	
5. 受験および修学上の配慮が必要な方の出願について	
III. 受験	41
1. 入学試験会場	
2. 受験上の注意	
IV. 合格発表と入学手続	42
1. 合格発表	
2. 入学手続	
■入学手続	
■学費	
V. 奨学生制度	47
VI. その他	49
■日本語論文対策講座	
■資格取得等について	
■長期交換留学プログラム	
■厚生労働省 教育訓練給付制度（一般教育訓練）	

I

II

III

IV

V

VI

教育目的と修了の要件

本大学院は、本大学の目的及び使命に基づき、学問の自由を尊重し、学術の理論及び応用を教授研究し、その精深を究めて、人類文化の発展に寄与することを目的としています。

専修大学21世紀ビジョン 「社会知性 (Socio-Intelligence) の開発」

社会知性 (Socio-Intelligence)

専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力

専修大学が創り育てる“知”

●課程 ●年限

●課程の目的

●修了要件

●在学年限

本大学院の課程は、博士課程とし、博士課程の標準修業年限は、5年とします。博士課程は、これを前期2年および後期3年の課程に区分し、前期2年の課程を「修士課程」といい、後期3年の課程を「博士後期課程」といいます。

修士課程は、広い視野に立って精深な学識を受け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要の高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とします。

●修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。なお、優れた研究業績を上げた者は、1年以上在学すれば修了できます。

この認定には、その研究に必要な1か国語以上の外国語によく通ずることを条件としています。

●博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。なお、優れた研究業績を上げた者は、在学期間を短縮して修了することができます。

この認定には、その研究に必要な2か国語以上の外国語によく通ずることを条件としています。

本大学院における最長在学年限は、修士課程にあつては4年、博士後期課程にあつては6年とします。

専修大学大学院修士課程 入学者に関する受入方針（アドミSSION・ポリシー）

研究科	アドミSSION・ポリシー
経済学	経済学研究科（修士課程）では、理論・歴史・制度・政策・統計など経済学に関わる高い専門性を有し、現実の経済社会の課題を的確に解きあかす経済学思考力、政策提言能力および問題解決能力を持った人材の育成に努めます。そのために、次に掲げる人を求めます。 経済学研究科経済学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)経済学に関わる標準的な知識・理解力を有する人 (2)高い専門性を獲得しようとする意欲を持った人 (3)将来において活躍しうる研究者または高度職業人を目指す人
法 学	法学研究科（修士課程）では、豊かな法的創造性、卓越した専門知識または柔軟な法的考え方に基づき、多様な知識基盤社会を支える、基礎的な知識と能力を備えた人材を受け入れます。そのために、次に掲げる人を求めます。 法学研究科法学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)法学または政治学を学ぶために必要となる基礎知識や理解力、外国語能力を有し、自主的に研究する意欲のある人 (2)法学または政治学に関する専門知識と実務能力を身につけ、高度専門職業人として活躍する意欲のある人 (3)社会で身につけた実務経験を理論的に彫琢し、高度化しようとする人、または、現在有している専門知識により高度な知識を付加しようとする人 (4)複数分野の知識を融合し、複眼的な観点から思考できる能力を身につけ、社会の一員として活動しようとする人
文 学	文学研究科（修士課程）では、「人間とは何か」という課題に対して、人文・社会科学の分野を中心に以下の8つの専攻に分かれて多角的に追究することを目的としています。そのための幅広い教養と豊かな感性、鋭い理性、並びに基礎学力を備え、それを基盤として専門知識を身につけ、研究者や、社会で活躍する高度職業人となることを希望する人を求めています。 日本語日本文学専攻 文学研究科日本語日本文学専攻（修士課程）では、研究者や教員の養成、及び高度な専門知識によって社会に貢献しうる人材の育成を目指しています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科日本語日本文学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)日本語・日本文化についての知的好奇心に富み、柔軟な発想のできる人 (2)豊かな表現力と理解力、高いコミュニケーション能力を備えた人 (3)自己の獲得した知識や関心を、優れた研究業績や創作に結実できる人 英語英米文学専攻 文学研究科英語英米文学専攻（修士課程）では、高度な専門知識を持った研究者や教員を養成するのみならず、さまざまな場面で英語力を発揮できる人材の養成を目的としています。また、多様な可能性を持った人材を社会に送り出すことを目指しています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科英語英米文学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)情報収集・把握・峻別力に富み、論理的構築力を有する人 (2)知的好奇心にあふれ、専門分野の知識を積極的に吸収する意欲を持った人 (3)主体的に他者とコミュニケーションを取り、学修成果を発表する能力を身につけることを目指す人 哲学専攻 文学研究科哲学専攻（修士課程）では、古代から現代にいたる欧米の哲学および日本思想、また、芸術学に関して、それぞれの基本文献をその原語において読解する訓練を通じて、現代が直面する諸課題に対して、その根幹に遡って考察する基盤を養成することをその教育目標にしています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科哲学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)物事を理論的・歴史的に考察する意欲を有する人 (2)先達の知見に学ぶ謙虚さを備えた人 (3)自らの立場を明確にし、他者を説得する周到さを持った人 歴史学専攻 文学研究科歴史学専攻（修士課程）では、歴史学研究の特定の領域における高度な専門知識を修得し、かつ専門領域を越えた広い視野で歴史を総合的・批判的に捉えることのできる研究者、教育者の養成を目的としています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科歴史学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)史資料・情報の収集とそれらを的確に理解する能力を有する人 (2)人間の諸活動と社会に対する幅広い問題意識をもって理解しようとする意欲を持った人 (3)論理的な洞察力をもって諸事象の体系的な把握を目指す人 地理学専攻 文学研究科地理学専攻（修士課程）では、フィールドワークやGIS、リモートセンシング技術等の高い専門性を持ち、実証的な研究を進めることができる多様な人材の育成に取り組んでいます。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科地理学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)地理学や地域・環境をめぐる問題に関して広く興味関心を有する人 (2)地理学を学ぶ上で必要な専門的知識・技術の修得に意欲を有する人 (3)地域や環境における課題を対象とした実証的な研究に意欲的に取り組む人 上記を理解し真摯に勉学・研究に取り組む人材を求め、研究者、高度専門職業人、地理学の教育などを目指す者を地理学出身者に限らず広く受け入れます。

	社会学専攻 文学研究科社会学専攻（修士課程）では、高度な専門知識をもった研究者や教育者の養成のみならず、それらを駆使して広く社会に貢献できる人材の育成を目的としています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科社会学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)柔軟な思考をもち、社会から学ぶ姿勢を有する人 (2)社会学諸領域での新たな知見の獲得のために調査・研究する意欲を持った人 (3)自分の問題意識をもち、理論的・実証的に研究を展開することを目指す人 心理学専攻 文学研究科心理学専攻（修士課程）では、専門知識をもった研究者を養成するとともに、心理学的知識を活かす専門的職能人を育成し、とくに修士課程修了を必須とする「公認心理師」「臨床心理士」の資格取得を支援する教育を行い、専門研究者もしくは、実務・応用に耐えうる深化した基礎知識と技能を身に付けた臨床領域の専門家を社会に送り出すことを目的としています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科心理学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)専門的学修の土台となる基本的な心理学的知識と語学力を持つ人 (2)問題解決に必要な情報を収集・峻別し、論理的かつ柔軟に考察し、結果を適切に表現できる人 (3)主体性と協調性を持って心理学の学修と研究、実践に取り組むことができる人 また、社会人を含め多様な可能性を持った人材を求めることにしています。 ジャーナリズム学専攻 文学研究科ジャーナリズム学専攻（修士課程）では、ジャーナリズム学に関する高度な専門的知識と研究能力を有して、幅広い視野で社会の課題を自ら見出し解決できる人材の養成を目的としています。そのために、次に掲げる人を求めます。 文学研究科ジャーナリズム学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)ジャーナリズム学専攻に対する明確な進学目的と学習意欲を有している人 (2)ジャーナリズム学分野に関する基礎的な理論や知識と能力を有している人 (3)物事を多面的かつ論理的に考察し、的確に判断できる能力を有している人 (4)自分の考えを的確に表現し、相手に確実に伝達できる能力を有している人
経営学	経営学研究科経営学専攻（修士課程）「経営学コース」では、経営学の分野における創造性豊かな研究能力を有する研究者等及び確かな研究・教育能力を兼ね備える大学教員の養成並びにこれらの分野に関する卓越した専門知識及び能力を有する高度の専門職業人を養成することを目的としています。そのために、次に掲げる人を求めます。 経営学研究科経営学専攻（修士課程）「経営学コース」の入学者に求める資質・能力等 (1)大学の教育課程において、経営学の分野に関する幅広い知識、あるいは、文化・歴史・社会・自然など幅広い教養を修得している人 (2)経営学の分野に関心を持ち、研究者や教員、専門職業人を目指す意欲を持つ人、或いは、経営学の分野で自らの能力をさらに磨き、経営現場でリーダーシップを発揮して活躍したいと望んでいる人 (3)経営学の分野における合理的な研究テーマを提示でき、論理的な思考や数値的な分析を積み重ねて、研究成果を導き出す素養を持つ人 (4)先行研究や実際の事例と向き合い理論的に分析でき、修士論文として仕上げる素養を持つ人 経営学研究科経営学専攻（修士課程）「情報管理コース」では、情報管理の分野における創造性豊かな研究能力を有する研究者等及び確かな研究・教育能力を兼ね備える大学教員の養成並びにこれらの分野に関する卓越した専門知識及び能力を有する高度の専門職業人を養成することを目的としています。そのために、次に掲げる人を求めます。 経営学研究科経営学専攻（修士課程）「情報管理コース」の入学者に求める資質・能力等 (1)大学の教育課程において、情報管理の分野に関する幅広い知識、あるいは、文化・歴史・社会・自然など幅広い教養を修得している人 (2)情報管理の分野に関心を持ち、研究者や教員、専門職業人を目指す意欲を持つ人、或いは、情報管理の分野で自らの能力をさらに磨き、経営現場でリーダーシップを発揮して活躍したいと望んでいる人 (3)情報管理の分野における合理的な研究テーマを提示でき、論理的な思考や数値的な分析を積み重ねて、研究成果を導き出す素養を持つ人 (4)先行研究や実際の事例と向き合い理論的に分析でき、修士論文として仕上げる素養を持つ人
商学	商学研究科（修士課程）では、商学及び会計学に対する基礎理論及び幅広い教養の基礎の上に、高度な専門的知識及び能力を有する専門職業人、知識基盤社会を支える人、並びに研究能力及び教育能力を有し、将来、大学教員を希望する人を求めています。 加えて、上記を目指す外国人留学生も歓迎します。 商学専攻 商学研究科商学専攻（修士課程）では、商学の基礎理論及び幅広い教養の基礎の上に、商学に関わる専門性と実践性を兼ね備えた知識を身につけたいと考えている人を求めています。そのために、次に掲げる人を求めます。 商学研究科商学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)商学を学ぶにあたって必要となる基礎知識や理解力、語学力を有する人 (2)設定した商学の研究課題を指導に基づいて完遂する意欲を持った人 (3)商学の研究で得た基礎的な学術的知識の応用や高度化を目指す人 会計学専攻 商学研究科会計学専攻（修士課程）では、会計学の基礎理論及び幅広い教養の基礎の上に、会計学に関わる専門性と実践性を兼ね備えた知識を身につけたいと考えている人を求めています。そのために、次に掲げる人を求めます。 商学研究科会計学専攻（修士課程）の入学者に求める資質・能力等 (1)会計学を学ぶにあたって必要となる基礎知識や理解力、語学力を有する人 (2)設定した会計学の研究課題を指導に基づいて完遂する意欲を持った人 (3)会計学の研究で得た基礎的な学術的知識の応用や高度化を目指す人

令和8（2026）年度 大学院修士課程入学試験実施区分表

○印… 実施

研 究 科	専 攻 (コ ー ス)	入学定員	修士課程（第Ⅰ期・第Ⅱ期）		
			一 般	社会人	外国人留学生
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻 (社 会 経 済 コ ー ス) (国 際 経 済 コ ー ス) プロフェッショナルコース エコノミックリサーチコース	25	○	○	○
法 学 研 究 科	法 学 専 攻	25	○	○	○
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻 (日 本 語 学 コ ー ス) (日 本 語 プロフェッショナルコース) (日 本 文 学 文 化 コ ー ス)	10	○ 〔注1〕	○	○ 〔注1〕
	英 語 英 米 文 学 専 攻	5	○	○	—
	哲 学 専 攻	5	○	○	○
	歴 史 学 専 攻	10	○	○	○
	地 理 学 専 攻	5	○	○	○
	社 会 学 専 攻	5	○	○	○
	心 理 学 専 攻	10	○	○	○
経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻 (経 営 学 コ ー ス) (情 報 管 理 コ ー ス)	20	○	○	○
	商 学 専 攻 (ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス) (ビ ジ ネ ス コ ー ス)	10	○	○	○
商 学 研 究 科	会 計 学 専 攻 (ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス) (プロフェッショナルコース)	15	○	○	○ 〔注2〕

〔注1〕 文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコースは修士課程第Ⅱ期社会人入学試験のみ実施

〔注2〕 商学研究科会計学専攻外国人留学生入学試験はアカデミックコースのみ実施

■開講する校舎について

○印 … 昼間開講 ●印 … 平日夜間・土曜昼間開講

校 舎			神 田 校 舎	生 田 校 舎
研 究 科				
経 済 学 研 究 科		社 会 経 済 コ ー ス	—	○
		国 際 経 済 コ ー ス		
		プロフェッショナルコース	●	—
		エコノミックリサーチコース		
法 学 研 究 科			○	—
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	日 本 語 学 コ ー ス	○	—
		日本語プロフェッショナルコース	○	—
		日 本 文 学 文 化 コ ー ス	—	○
	英 語 英 米 文 学 専 攻 哲 学 専 攻 歴 史 学 専 攻 地 理 学 専 攻 社 会 学 専 攻 心 理 学 専 攻 ジ ャ ー ナ リ ズ ム 学 専 攻		—	○
経 営 学 研 究 科			—	○
商 学 研 究 科	商 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス	○	—
		ビ ジ ネ ス コ ー ス	●	—
	会 計 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス	○	—
		プロフェッショナルコース	●	—

・開講科目および担当教員は、専修大学ホームページで確認してください。

■コース制と入学試験制度等について

○経済学研究科のコース制と入学試験制度について

経済学研究科では、生田校舎で昼間開講の「社会経済コース」「国際経済コース」、神田校舎で平日夜間・土日昼間開講の「プロフェッショナルコース」「エコノミックリサーチコース」の4つのコースを設置し、幅広いニーズに対応した教育・研究を行っています。

社会経済コースは、経済理論・統計学を始めとして、経済史、社会政策、財政学、金融論に至るまで幅広く学べるコースです。

国際経済コースは、欧米・アジア・ラテンアメリカを始めとして、世界の経済社会や地域研究、国際協力などを学べるコースです。

プロフェッショナルコースは、経済政策や国際経済論、財政学・租税政策などの科目から、企業・産業や総合政策、財政・税制を研究できるコースです。企業人として一層の活躍を目指す方向けのコースです。

エコノミックリサーチコースは、経済理論や計量経済学を用いて、企業・産業・マクロ経済動向や政策に関する経済調査・経済分析の手法を新たに学ぶとともに、それらのスキルアップをはかるコースです。企業・官庁・自治体で調査業務に携わる方が高度な経済分析力を養うのに適したコースです。

入学試験制度	コ ー ス	方 式	試 験 科 目
一 社 会 人 外 国 人 留 学 生	社 会 経 済 コ ー ス	A	英語、専門科目1科目（注1）、口述試験
	国 際 経 済 コ ー ス	C	書類選考（研究計画書等）、口述試験
	プロフェッショナルコース	B	専門科目1科目（注1）、口述試験
	エコノミックリサーチコース	C	書類選考（研究計画書等）、口述試験

※出願後にコースの変更はできませんので、指導教授や専修科目についてよく調べてください。指導教授を選択する際には、ホームページの教員紹介、研究者情報システム、大学院授業シラバスを必ず確認してください。※不明な点は出願前に大学院事務課に問い合わせください。

（注1）専門科目で選択できる科目と出題範囲については、13・19・23頁を確認してください。

○文学研究科日本語日本文学専攻のコース制と入学試験について

文学研究科日本語日本文学専攻では、神田校舎で昼間開講の「日本語学コース」と「日本語プロフェッショナルコース」、生田校舎で昼間開講の「日本文学文化コース」を設置しています。

日本語学コースは、音声学や古典語・現代語の文法といった言語の仕組みの解明と、日本語教育、社会言語学などの言語運用の解明も目指し、日本語という言語を多角的に研究していきます。

日本語プロフェッショナルコースは、日本語教師やアナウンサー、声優、校閲者、記者などの「日本語のプロフェッショナル」としての実績が既にある人が、自分のスキルを言語学的視点から分析し、その分野の指導者等を目指すことを目的とした社会人向けのコースです。

日本文学文化コースは、上代・中古・中世・近世・近現代と全時代にわたって幅広く日本文学・文化を学ぶことができ、将来、教員や研究者などを目指す方向けのコースです。

各コースで熱心な教授陣が一人ひとりの研究分野を丁寧に指導します。

入試制度	コ ー ス	試 験 科 目
一 般	日 本 語 学 コ ー ス	英語、専門科目、口述試験
	日 本 文 学 文 化 コ ー ス	
社 会 人	日 本 語 学 コ ー ス	専門科目、口述試験
	日本語プロフェッショナルコース （Ⅱ期のみ）	書類選考（研究計画書等）、口述試験
	日 本 文 学 文 化 コ ー ス	専門科目、口述試験
外 国 人 留 学 生	日 本 語 学 コ ー ス	専門科目、口述試験
	日 本 文 学 文 化 コ ー ス	

※出願後にコースの変更はできません。

○文学研究科心理学専攻の一般入学試験制度について

時 期	方式	試 験 科 目	特 記 事 項
第Ⅰ期	A	英語、専門科目、口述試験	—
	C	専門科目、口述試験	TOEFL (iBT) 61点以上、TOEIC590点以上のいずれかの資格を有する者のみ選択可能。（注1）
第Ⅱ期	A	英語、専門科目、口述試験	—
	B	書類選考、英語、専門科目、プレゼンテーション試験	修士課程修了後に臨床心理資格の取得を希望しない者のみ選択可能。（注2）
	C	専門科目、口述試験	TOEFL (iBT) 61点以上、TOEIC590点以上のいずれかの資格を有する者のみ選択可能。（注1）

(注1) …出願締切日から2年以内に受験したスコアに限ります。

(注2) …出願時に卒業論文(心理学に関するものに限る)の提出が必要となります。また、B方式で受験して入学した場合は、修士課程を修了しても臨床心理士資格の受験資格は得られません。

○経営学研究科筆記試験科目[英語・日本語(小論文)除く]について

経営学研究科の筆記試験科目[英語・日本語(小論文)除く]の受験準備上での参考書を提示します。それぞれの領域の基礎的専門知識をしっかりと身につけてください。

筆記試験科目	参考書
経営学	馬場杉夫、蔡 芒錫、福原康司、伊藤真一、奥村経世、矢澤清明、『マネジメントの航海図—個人と組織の複雑的な経営管理—』、中央経済社、2015
	伊丹敬之、加護野忠男、『ゼミナール経営学入門 新装版』、日本経済新聞出版社、2022
経済学	ミクロ経済学(「一般均衡」を除く)
	西村和雄、『ミクロ経済学(現代経済学入門) 第3版』、岩波書店、2011
	井堀利宏、『入門ミクロ経済学 第3版』、新世社、2019
	マクロ経済学(「経済成長」「景気循環のうちりアル・ビジネスサイクル」「世代重複モデル」を除く)
	N.G. マンキュー『マンキュー マクロ経済学I 入門篇 第4版』東洋経済新報社、2017
	浅子和美、倉澤 資成、加納 悟、『マクロ経済学(新経済学ライブラリ) 第2版』、新世社、2009
マーケティング	(公社)日本マーケティング協会監修、恩蔵直人、三浦俊彦、芳賀康浩、坂下玄哲編著、『ベーシック・マーケティング 第2版』、同文館出版、2019
	田口冬樹、『マーケティング・マインドとイノベーション』、白桃書房、2017
	石井淳蔵、嶋口充輝、栗木契、余田拓郎、『ゼミナール マーケティング入門 第2版』、日本経済新聞出版社、2013
会計学	伊藤邦雄、『新・現代会計入門 第6版』、日本経済新聞出版社、2024
	武脇誠、青木章通、平井裕久、森口毅彦、『管理会計』、新世社、2008
コンピュータ科学	情報処理学会一般情報教育委員会編、『一般情報教育』、オーム社、2020
	魚田勝臣、渥美幸雄、植竹朋文、大曾根匡、森本祥一、綿貫理明、『コンピュータ概論 第9版: 情報システム入門』、共立出版、2023
統計学	篠崎信雄、竹内秀一『統計解析入門 第3版』サイエンス社、2020
	D.M. ディーツ他著、国友直人他訳『データ分析のための統計学入門原著第4版』日本統計協会、2021
	日本統計学会編、『日本統計学会公式認定 統計検定準1級対応 統計学実践ワークブック』、学術図書出版社、2020

○商学研究科のコース制と入学試験制度について

商学研究科には、商学専攻と会計学専攻があり、商学専攻には「アカデミックコース」と「ビジネスコース」、会計学専攻には「アカデミックコース」と「プロフェッショナルコース」が設置されています。

両専攻ともアカデミックコースは、主として研究者養成を目的としています。

商学専攻のビジネスコースと会計学専攻のプロフェッショナルコースは平日の夜間と土曜日の昼間に開講しており、主として社会人の再学修教育、高度職業人の育成、実践的な高度専門教育などを目的としています。

入学試験制度	コース	方式	試験科目	特記事項
一般	アカデミックコース	A	英語、専門科目1科目、口述試験	—
		B	専門科目1科目、口述試験	実用英語技能検定準1級、TOEFL(iBT) 83点、TOEIC730点以上(IP試験は不可)のいずれかの資格を有する者のみ選択可能。(注1)
	ビジネスコース プロフェッショナルコース	—	専門科目1科目、口述試験	—
社会人	アカデミックコース	—	専門科目1科目、口述試験	—
	ビジネスコース プロフェッショナルコース	—	書類選考(研究計画書等)、口述試験	—

外国 留 学 生	アカデミックコース ビジネスコース	C	専門科目1科目、口述試験	—
		D	書類選考（研究計画書等）、 口述試験	指定するいずれかの資格を有する 者のみ選択可能。（注2）

（注1）入学試験実施日から2年以内に受験したスコアに限ります。

（注2）次の①または②のいずれかを満たす者に限ります。ただし、「日本語能力の確認のための個別審査」を必要とするものは該当しません。また、税理士試験科目免除希望者は除きます。

①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する平成22年度以降に行われた日本語能力試験のN1に合格し、かつ120点以上を点数した者

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する入学試験実施日より直近の実施4回の日本留学試験を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち350点以上を点数し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち35点以上を点数した者

■リサーチ・ペーパーについて

○法学研究科・商学研究科

修士課程法学研究科法学専攻、商学研究科商学専攻ビジネスコース、会計学専攻プロフェッショナルコースでは、修士論文に代えて「リサーチ・ペーパー」によって修了要件を満たすことができます。ただし、博士後期課程の受験を希望する者および税理士試験科目免除希望者は、修士論文を提出してください。

■授与する学位

本大学院において、各研究科の課程修了の認定を得た者には、次の学位を授与します。

研 究 科	専 攻		学 位	
			修 士	博 士
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	（社会経済コース） 国際経済コース プロフェッショナルコース エコノミックリサーチコース	修 士（経 済 学）	博 士（経 済 学）
		法 学 専 攻	修 士（法 学）	—
		民 事 法 学 専 攻	—	博 士（法 学）
法 学 研 究 科	公 法 学 専 攻	—	—	
文 学 研 究 科	日 本 語 日本文学専攻	（日本語学コース） 日本語プロフェッショナルコース 日本文学文化コース	修 士（文 学）	博 士（文 学）
		英 語 英 米 文 学 専 攻	修 士（文 学）	博 士（文 学）
	哲 学 専 攻		修 士（哲 学）	博 士（哲 学）
	歴 史 学 専 攻		修 士（歴 史 学）	博 士（歴 史 学）
	地 理 学 専 攻		修 士（地 理 学）	博 士（地 理 学）
	社 会 学 専 攻		修 士（社 会 学）	博 士（社 会 学）
	心 理 学 専 攻		修 士（心 理 学）	博 士（心 理 学）
	ジャーナリズム学専攻		修 士（ジャーナリズム学）	—
経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	経 営 学 コー ス	修 士（経 営 学）	博 士（経 営 学）
		情 報 管 理 コー ス	修 士（情報管理）	博 士（情報管理）
商 学 研 究 科	商 学 専 攻	（アカデミックコース） ビジネスコース	修 士（商 学）	博 士（商 学）
	会 計 学 専 攻	（アカデミックコース） プロフェッショナルコース		

※ 経済学研究科および商学研究科のコース制は修士課程のみ設置

※ 文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコースは修士課程のみ設置

I . 入学試験日程・試験時間割・試験科目

1. 出願期間・入学試験日程
2. 筆記試験時間割・試験科目
 - 一般入学試験
 - 社会人入学試験
 - 外国人留学生入学試験

I. 入学試験日程・試験時間割・試験科目

1. 出願期間・入学試験日程

〔第Ⅰ期入学試験〕

研究科	専 攻	制 度	出 願 期 間 (締切日消印有効)	試 験 日		合格発表日
				筆 記 試 験	口 述 試 験	
経済学	経 済 学	一般 社会人 外国人留学生	9月1日(月) ～9月8日(月)	9月27日(土)	9月27日(土)	10月3日(金)
法 学	法 学	一般 社会人 外国人留学生	9月1日(月) ～9月8日(月)	9月27日(土)	9月27日(土)	10月3日(金)
文 学	英語英米文学 心理文学	一般 社会人 外国人留学生※1	9月1日(月) ～9月8日(月)	9月27日(土)	9月27日(土)	10月3日(金)
	日本語日本文学 哲学 歴史学 地理学 社会学	一般 社会人※2 外国人留学生	9月8日(月) ～9月16日(火)	10月4日(土)	10月4日(土)	10月10日(金)
	ジャーナリズム学	一般	9月1日(月) ～9月8日(月)			
経営学	経 営 学	一般 社会人 外国人留学生	9月1日(月) ～9月8日(月)	9月27日(土)	9月27日(土)	10月3日(金)
商 学	商 会 計 学	一般 社会人 外国人留学生※1	9月1日(月) ～9月8日(月)	10月4日(土)	10月4日(土)	10月10日(金)

※1 英語英米文学専攻、会計学専攻プロフェッショナルコースでは、外国人留学生入学試験制度を実施していません。

※2 日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコースは、第Ⅱ期社会人入学試験制度のみ実施しています。

〔第Ⅱ期入学試験〕

研究科	専攻	制 度	出願期間 (締切日消印有効)	試 験 日		合格発表日
				筆記試験	口述試験	
経済学	経 済 学	一般 社会人 外国人留学生	1月19日(月) ～1月26日(月)	2月21日(土)	2月21日(土)	2月27日(金)
法 学	法 学	一般 社会人 外国人留学生	1月19日(月) ～1月26日(月)	2月21日(土)	2月21日(土)	2月27日(金)
文 学	歴 史 学	一般 社会人 外国人留学生	1月26日(月) ～2月2日(月)	2月21日(土)	2月21日(土)	2月27日(金)
	心 理 学	一般 社会人 外国人留学生	1月19日(月) ～1月26日(月)			
	日本語日本文学	一般 社会人※1 外国人留学生※2	1月26日(月) ～2月2日(月)	2月28日(土)	2月28日(土)	3月6日(金)
	英語英米文学 哲		2月2日(月) ～2月9日(月)			
	ジャーナリズム学		1月26日(月) ～2月2日(月)			
経営学	経 営 学	一般 社会人 外国人留学生	1月26日(月) ～2月2日(月)	2月21日(土)	2月21日(土)	2月27日(金)
商 学	商 会 計 学	一般 社会人 外国人留学生※2	1月19日(月) ～1月26日(月)	2月21日(土)	2月21日(土)	2月27日(金)

※1 日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコースは、第Ⅱ期社会人入学試験制度のみ実施しています。

※2 英語英米文学専攻、会計学専攻プロフェッショナルコースでは、外国人留学生入学試験制度を実施していません。

2. 筆記試験時間割・試験科目

一般入学試験

研 究 科	専 攻	コ ー ス ・ 領 域	募 集 人 数
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	社 会 経 済 コ ー ス 国 際 経 済 コ ー ス プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル コ ー ス エ コ ノ ミ ッ ク リ サ ー チ コ ー ス	25名
法 学 研 究 科	法 学 専 攻	－	25名
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	日 本 語 学 コ ー ス 日 本 文 学 文 化 コ ー ス	10名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	－	5名
	哲 学 専 攻	－	5名
	歴 史 学 専 攻	－	10名
	地 理 学 専 攻	－	5名
	社 会 学 専 攻	－	5名
	心 理 学 専 攻	基 礎 心 理 学 領 域 社 会 心 理 学 領 域 発 達 心 理 学 領 域 臨 床 心 理 学 領 域	10名
	ジャーナリズム学専攻	－	5名
経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	経 営 学 コ ー ス 経 情 報 管 理 コ ー ス	20名
商 学 研 究 科	商 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス ビ ジ ネ ス コ ー ス	10名
	会 計 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル コ ー ス	15名

※募集人数には、社会人入学試験及び外国人留学生入学試験の若干名を含みます。

※試験の成績によっては、募集人数に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

■経済学研究科

専攻	コース	方式	書類選考	受験上の注意	1 時 限 目	2 時 限 目	口述試験
経済学	社会経済国際経済 プロフェッショナル	A	－	9:00 ） 9:10 (10分)	専門科目 9:10～10:40 (90分) 近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学） またはマルクス経済学から1科目選択（注1）	英 語 11:10～12:40 (90分)	筆記試験合格者に実施（注3）
		C	実施 (注4)	－	－	－	書類選考合格者に実施（注5）
	エコノミック リサーチ	B	－	9:00 ） 9:10 (10分)	専門科目 9:10～10:40 (90分) 近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）（注2）	－	筆記試験合格者に実施（注3）
		C	実施 (注4)	－	－	－	書類選考合格者に実施（注5）

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

（注1）A方式の専門科目は、近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）またはマルクス経済学から1科目選択です。近代経済学の配点割合はミクロ経済学50%、マクロ経済学50%です。

マルクス経済学は、次の参考書の内容に関連した出題となります。

・宇野弘蔵『経済原論』岩波文庫、2016年。

・平井規之・北川和彦・滝田和男『経済原論』有斐閣、1987年。

（注2）B方式の専門科目は、近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）です。配点割合はミクロ経済学50%、マクロ経済学50%です。

（注3）口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

（注4）書類選考は、研究計画書等をもとに行われます。

（注5）口述試験の実施時間、場所については書類選考の結果通知とともに速達郵便で通知します。

〔結果通知発送日：（第Ⅰ期）令和7（2025）年9月19日付、（第Ⅱ期）令和8（2026）年2月13日付〕

経済学研究科 辞書の持ち込みについて

・英語の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

■法学研究科

専攻	書類審査	受験上の注意	1 時 限 目 (自 己 の 専 修 科 目)	口述試験
			9:10～10:40 (90分)	
法学	実施 (注1)	9:00 ） 9:10 (10分)	法社会学、日本法制史、西洋法制史、中国法制史、憲法、行政法、税法、民法、商法・会社法、民事訴訟法、刑法、刑事学、労働法、経済法、知的財産法、社会保障法、国際法、EU法、政治学、行政学、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治史、国際政治学の中から、自己の専修科目1科目を選択。専修科目で「商法」および「会社法」を選択する場合の試験科目は、「商法・会社法」を選択してください。	筆記試験合格者に実施 (注2)

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

（注1）書類審査は、研究計画書等をもとに行われます。

（注2）口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

法学研究科 六法等の持ち込みについて

・専門科目の試験では六法、条約集の使用を許可しますので、各自持参してください（電子辞書、専門分野六法、判例および解説付きは使用不可）。

■文学研究科

専攻	コース	受験上の注意	1 時 限 目 (外 国 語)	2 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
			9:10~10:40 (90分)	11:10~13:10 (120分)	
日 本 語 日本文学	日 本 語 学	9:00)	英 語	日本語、日本文学に関する一般的知識についての設問	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
	日本文学文化	9:10 (10分)			

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄は「英語」および「専門科目」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

専攻	受験上の注意	1 時 限 目 (外 国 語)	2 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
		9:10~10:40 (90分)	11:10~13:10 (120分)	
歴 史 学	9:00) 9:10 (10分)	英語、独語、仏語、スペイン語、中国語、 コリア語、古文書より1つを選択 ※中国語は一部を漢文に替えることができます。	自己の専修しようとする科目(日本史、 東洋史、西洋史、アジア考古学)に関する 通史のかつ広域的な知識および自己 の研究分野に関する小論文	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
地 理 学		英 語	人文地理学、自然地理学、地域システム 論(地誌学)の中から、自己の専修しよう とする科目に関連する試験科目を含 めて2科目選択	

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

日本語日本文学・歴史学・地理学専攻 辞書の持ち込み・使用について

・外国語科目の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください(専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません)。

※歴史学専攻の外国語科目の試験で古文書を選択した場合の語学辞書の使用については以下のとおりとします。

古文書…漢字くずし方辞典、くずし字用例辞典、五體字類など

なお、持ち込みを認めない専門用語辞書とは、日本史辞典などです。

専攻	受験上の注意	1 時 限 目 (外 国 語)	2 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
		9:10~10:40 (90分)	11:10~12:40 (90分)	
英語英米文学	9:00) 9:10 (10分)	英 語 (辞書使用不可)	英文学史、米文学史、英語学、英米研究、 応用言語学の中から自分が専修しよう とする分野に関連した科目を1科目選 択	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
社 会 学		英 語	(1) 社会学に関する基礎的知識 (2) 社会学の専門領域に関する問題	

○社会学専攻志願者は、入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄は「英語」および「専門科目」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

英語英米文学・社会学専攻 辞書の持ち込み・使用について

・英語英米文学専攻の外国語科目の試験は語学辞書の使用を認めません。

・社会学専攻の外国語科目の試験では、語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください(専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません)。

専攻	受験上の注意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	2 時 限 目 (外 国 語)	口述試験
		9:10~11:40 (150分)	12:10~13:40 (90分)	
哲 学	9:00 ～ 9:10 (10分)	哲学に関する一般的知識についての設問および哲学に関する小論文	英 語	筆記試験終了後 受験者全員に 実施(注1)

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄は選択した外国語科目および「専門科目」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

哲学専攻 辞書の持ち込み・使用について

・外国語科目の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

専攻	方式	書類選考	受験上の注意	1 時 限 目	2 時 限 目	口述試験
心理学	A	-	9:00 ～ 9:10 (10分)	専門科目 9:10~10:40 (90分) (1) 心理学に関する基礎知識 (2) 基礎心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学の4領域の論述問題から1問選択 <u>※臨床心理学領域を志望する受験生は、必ず臨床心理領域の論述問題を選択すること</u>	外国語 11:10~12:10 (60分) 英 語	口述試験 筆記試験終了後 受験者全員に 実施 (注3)
	B Ⅱ期のみ実施	実施 (注2)		専門科目 9:10~10:40 (90分) (1) 心理学に関する基礎知識 (2) 基礎心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学の4領域の論述問題から1問選択 <u>(書類選考合格者に実施)</u>	外国語 11:10~12:10 (60分) 英 語 (書類選考合格者に実施)	プレゼンテーション試験 書類選考合格者に実施 (注3)
	C (注1)	-		専門科目 9:10~10:40 (90分) (1) 心理学に関する基礎知識 (2) 基礎心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学の4領域の論述問題から1問選択 <u>※臨床心理学領域を志望する受験生は、必ず臨床心理領域の論述問題を選択すること</u>	-	口述試験 筆記試験終了後 受験者全員に 実施 (注3)

○A・B方式は入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「専門科目」および「英語」と記入してください。

○C方式は入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「専門科目」と記入してください。

○B方式は、修士課程修了後に臨床心理士の資格取得を希望しない受験生のみが選択できます。

B方式で受験して合格した場合は、修士課程を修了しても臨床心理士資格の受験資格は得られません。

○A・C方式の口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

○B方式のプレゼンテーション試験は、出願時に心理学に関する卒業論文もしくはそれに相当する論文等を提出していただくとともにパソコンを使用した卒業論文に関する発表（10分程度）を行っていただき、それに対し質疑します。

なお、大学では以下の機材を用意いたします。

(パソコン) OS: Windows11《使用可能なソフト》Microsoft Office Professional Plus2021、Adobe Reader

《使用可能なメディア》USB メモリー

※パソコンは、各自で用意してもかまいません。

パソコン発表ができない事態に備えて、念のため、説明画面等を出力したものを1部持参してください。

また、発表時に補足資料(A4判1～2枚)を配付してもかまいません。その場合には、**5部**持参してください。

- (注1) 出願締切日から2年以内に受験した TOEFL (iBT) 61点、TOEIC590点以上のいずれかのスコアの写しを提出した受験生のみ選択することができます。
- (注2) B方式は、書類選考を実施します。書類選考の結果通知は、令和8（2026）年2月13日付の速達郵便で通知します。
- (注3) 口述試験およびプレゼンテーション試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

心理学専攻 辞書の持ち込み・使用について

- ・外国語科目の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

専 攻	書類選考	受験上の 注 意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	2 時 限 目 (外 国 語)	口述試験
			9:10～11:10 (120分)	11:40～12:20 (40分)	
ジャーナリズム学	実施 (注1)	9:00 ～ 9:10 (10分)	以下から1つ選択。 (1) ジャーナリズム研究領域の論述 (2) アーカイブ研究領域の論述 (3) スポーツインテリジェンス研究領域の論述 (4) ジャーナリズム学の広域的な知識および自己の研究・業績に関する論述 (注:(4)を選択予定の者は、必ず成果物・職務実績等を出願時に提出すること)	英 語	筆記試験終了後受験者全員に実施(注2)

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「専門科目」および「英語」と記入してください。

(注1) 書類選考は、研究計画書等志願書類をもとに行います。

書類選考の結果は、速達郵便で通知します。

[結果通知発送日:(第Ⅰ期) 令和7(2025)年9月26日付、(第Ⅱ期) 令和8(2026)年2月13日付]

(注2) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

ジャーナリズム学専攻 辞書の持ち込み・使用について

- ・外国語科目の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

■経営学研究科

専攻	コース	受験上の注意	筆記試験	口述試験
			9:10～11:10 (120分)	
経営学	経営学	9:00 ～ 9:10 (10分)	経営学、経済学、マーケティング、会計学、コンピュータ科学、統計学、英語の7科目から2科目選択	筆記試験合格者に実施(注1)
	情報管理			

○筆記試験は、7頁の参考書を必ず確認してください。

○口述試験は、志望理由、研究計画、専門分野の知識を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

経営学研究科 辞書の持ち込みについて

- ・英語の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

■商学研究科

専攻	コース	方式	受験上の注意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	2 時 限 目 (外 国 語)	口述試験
				9:10～10:40 (90分)	11:10～12:40 (90分)	
商 学	アカデミック	A	9:00 ～ 9:10 (10分)	商業学、経営学および経済学の中から1科目選択	英 語	筆記試験終了後、受験者全員に実施(注1)
		B (注2)			—	
	ビジネス	—			—	
会 計 学	アカデミック	A		財務会計、管理会計から1科目選択	英 語	
		B (注2)			—	
	プロフェッショナル	—			—	

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

(注2) 入学試験実施日から2年以内の実用英語技能検定準1級、TOEFL (iBT) 83点、TOEIC730点以上 (IP試験は不可) のいずれかのスコアの写しを提出した受験生のみ選択することができます。

商学研究科 辞書の持ち込みについて

- ・英語の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

社会人入学試験

社会人入学試験の募集趣旨

専修大学大学院修士課程では、一般入学試験とは別に、社会人を対象とした社会人入学試験制度を設けています。

この社会人入学試験制度は、社会人・職業人に積極的に大学院の門戸を開くことによって、生涯学習などの機会を提供すると共に、修士課程修了による資格取得等を目的として実施するものです。

研 究 科	専 攻	コ ー ス ・ 領 域	募集人数
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	社 会 経 済 コ ー ス 国 際 経 済 コ ー ス プロフェッショナルコース エコノミックリサーチコース	若干名
法 学 研 究 科	法 学 専 攻	—	若干名
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	日 本 語 学 コ ー ス 日本語プロフェッショナルコース 日 本 文 学 文 化 コ ー ス	若干名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	—	
	哲 学 専 攻	—	
	歴 史 学 専 攻	—	
	地 理 学 専 攻	—	
	社 会 学 専 攻	—	
	心 理 学 専 攻	基 礎 心 理 学 領 域 社 会 心 理 学 領 域 発 達 心 理 学 領 域 臨 床 心 理 学 領 域	
経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	経 営 学 コ ー ス 情 報 管 理 コ ー ス	若干名
商 学 研 究 科	商 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス ビ ジ ネ ス コ ー ス	若干名
	会 計 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス プロフェッショナルコース	

■経済学研究科

専攻	コース	方式	書類選考	受験上の 注 意	1 時限目	2 時限目	口述試験
経済学	社会経済 国際経済 プロフェッショナル	A	－	9:00 ～ 9:10 (10分)	専門科目 9:10～10:40 (90分) 近代経済学（ミクロ経済学・ マクロ経済学） またはマルクス経済学から1 科目選択（注1）	英 語 11:10～12:40 (90分)	筆記試験合格者 に実施（注3）
		C	実施 (注4)	－	－	－	書類選考合格者 に実施（注5）
	エコノミック リサーチ	B	－	9:00 ～ 9:10 (10分)	専門科目 9:10～10:40 (90分) 近代経済学（ミクロ経済学・ マクロ経済学）（注2）	－	筆記試験合格者 に実施（注3）
		C	実施 (注4)	－	－	－	書類選考合格者 に実施（注5）

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

（注1）A方式の専門科目は、近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）またはマルクス経済学から1科目選択です。

近代経済学の配点割合はミクロ経済学50%、マクロ経済学50%です。

マルクス経済学は、次の参考書の内容に関連した出題となります。

・宇野弘蔵『経済原論』岩波文庫、2016年。

・平井規之・北川和彦・滝田和男『経済原論』有斐閣、1987年。

（注2）B方式の専門科目は、近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）です。配点割合はミクロ経済学50%、マクロ経済学50%です。

（注3）口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

（注4）書類選考は、研究計画書等をもとに行われます。

（注5）口述試験の実施時間、場所については書類選考の結果通知とともに速達郵便で通知します。

〔結果通知発送日：（第Ⅰ期）令和7（2025）年9月19日付、（第Ⅱ期）令和8（2026）年2月13日付〕

経済学研究科 辞書の持ち込みについて

- ・英語の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

■法学研究科

専攻	書類審査	口述試験
法 学	実施 (注1)	受験者全員に対して実施します（筆記試験は行いません）。 (注2)

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 書類審査は、研究計画書等をもとに行われます。

(注2) 口述試験の集合時間、場所については出願後、大学から送付する受験票にて通知します。

■文学研究科

専攻	コース	書類選考	受験上の 注 意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
				9:10~11:10 (120分)	
日 本 語 日本文学	日 本 語 学	—	9:00 └ 9:10 (10分)	日本語、日本文学に関する一般的知識についての設問	筆記試験終了 後受験者全員 に実施 (注1)
	日 本 語 プロフェッショナル (Ⅱ期のみ)	実施 (注2)	—	—	書類選考合格 者に実施 (注3)
	日 本 文 学 文 化	—	9:00 └ 9:10 (10分)	日本語、日本文学に関する一般的知識についての設問	筆記試験終了 後受験者全員 に実施 (注1)

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄は「専門科目」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

(注2) 書類選考は、研究計画書等志願書類をもとに行います。

(注3) 口述試験の実施時間、場所については書類選考の結果通知とともに速達郵便で通知します。

[結果通知発送日：令和8（2026）年2月13日付]

専 攻	受験上の 注 意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
		9:10~11:10 (120分)	
歴 史 学	9:00 └	自己の専修しようとする科目（日本史、東洋史、西洋史、アジア考古学）に関する通史的かつ広域的な知識および自己の研究分野に関する小論文	筆記試験終了 後受験者全員 に実 施 (注1)
地 理 学	9:10 (10分)		
		人文地理学、自然地理学、地域システム論（地誌学）の中から、自己の専修しようとする科目に関連する試験科目を含めて2科目選択	

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

専 攻	受験上の 注 意	1 時 限 目 (外 国 語)	2 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
		9:10~10:40 (90分)	11:10~12:40 (90分)	
英語英米文学	9:00 └ 9:10 (10分)	英語（辞書使用不可）	英文学史、米文学史、英語学、英米研究、 応用言語学の中から自分が専修しよう とする分野に関連した科目を1科目選 択	筆記試験終了 後受験者全員 に実 施 (注1)

口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

専 攻	受験上の 注 意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
		9:10~11:40 (150分)	
哲 学	9:00 └ 9:10 (10分)	哲学に関する一般的知識についての設問および哲学に関する小論文	筆記試験終了 後受験者全員 に実施 (注1)

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄は「専門科目」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

専攻	受験上の注意	1 (専門科目)	口述試験
		9:10~10:40 (90分)	
社会学	9:00 } 9:10 (10分)	現代社会についての論述問題	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
心理学	9:00 } 9:10 (10分)	(1) 心理学に関する基礎的知識 (2) 基礎心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学の4領域の論述問題から1問選択 ※臨床心理学領域を志望する受験生は、必ず臨床心理学領域の論述問題を選択すること	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄は「専門科目」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

■経営学研究科

専攻	コース	受験上の注意	筆記試験	口述試験
			9:10~10:10 (60分)	
経営学	経営学	9:00 }	経営学、経済学、マーケティング、会計学、コンピュータ科学、統計学の6科目から1科目選択	筆記試験合格者に実施(注1)
	情報管理	9:10 (10分)		

○筆記試験は、7頁の参考書を必ず確認してください。

○口述試験は、社会人経験と研究分野との関係を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

■商学研究科

専攻	コース	書類選考	受験上の注意	1 (専門科目)	口述試験
				9:10~10:40 (90分)	
商学	アカデミック	—	9:00 } 9:10 (10分)	商業学、経営学および経済学の中から1科目選択	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
	ビジネス	実施(注2)	—	—	書類選考合格者に実施(注3)
会計学	アカデミック	—	9:00 } 9:10 (10分)	財務会計、管理会計から1科目選択	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
	プロフェッショナル	実施(注2)	—	—	書類選考合格者に実施(注3)

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

(注2) 書類選考は、研究計画書等志願書類をもとに行います。

(注3) 口述試験の実施時間、場所については書類選考の結果通知とともに速達郵便で通知します。

[結果通知発送日：(第I期) 令和7(2025)年9月26日付、(第II期) 令和8(2026)年2月13日付]

外国人留学生入学試験

I

外国人留学生入学試験

研 究 科	専 攻	コ ー ス ・ 領 域	募 集 人 数
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	社 会 経 済 コ ー ス 国 際 経 済 コ ー ス プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル コ ー ス エ コ ノ ミ ッ ク リ サ ー チ コ ー ス	若干名
法 学 研 究 科	法 学 専 攻	－	若干名
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	日 本 語 学 コ ー ス 日 本 文 学 文 化 コ ー ス	若干名
	哲 学 専 攻	－	
	歴 史 学 専 攻	－	
	地 理 学 専 攻	－	
	社 会 学 専 攻	－	
	心 理 学 専 攻	基 礎 心 理 学 領 域 社 会 心 理 学 領 域 発 達 心 理 学 領 域 臨 床 心 理 学 領 域	
経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	経 営 学 コ ー ス 経 情 報 管 理 コ ー ス	若干名
商 学 研 究 科	商 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス ビ ジ ネ ス コ ー ス	若干名
	会 計 学 専 攻	ア カ デ ミ ッ ク コ ー ス	

■経済学研究科

専攻	コース	方式	書類選考	受験上の 注 意	1 時限目	2 時限目	口述試験
経済学	社会経済 国際経済 プロフェッショナル	A	－	9:00 ～ 9:10 (10分)	専門科目 9:10～10:40 (90分) 近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学） またはマルクス経済学から1科目選択（注1）	英 語 11:10～12:40 (90分)	筆記試験合格者に実施（注3）
		C	実施 (注4)	－	－	－	書類選考合格者に実施（注5）
	エコノミック リサーチ	B	－	9:00 ～ 9:10 (10分)	専門科目 9:10～10:40 (90分) 近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）（注2）	－	筆記試験合格者に実施（注3）
		C	実施 (注4)	－	－	－	書類選考合格者に実施（注5）

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

（注1）A方式の専門科目は、近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）またはマルクス経済学から1科目選択です。

近代経済学の配点割合はミクロ経済学50%、マクロ経済学50%です。

マルクス経済学は、次の参考書の内容に関連した出題となります。

- ・宇野弘蔵『経済原論』岩波文庫、2016年。
- ・平井規之・北川和彦・滝田和男『経済原論』有斐閣、1987年。

（注2）B方式の専門科目は、近代経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）です。配点割合はミクロ経済学50%、マクロ経済学50%です。

（注3）口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

（注4）書類選考は、研究計画書等をもとに行われます。

（注5）口述試験の実施時間、場所については書類選考の結果通知とともに速達郵便で通知します。

〔結果通知発送日：（第Ⅰ期）令和7（2025）年9月19日付、（第Ⅱ期）令和8（2026）年2月13日付〕

経済学研究科 辞書の持ち込みについて

- ・英語の試験では語学辞書の使用を許可しますので各自持参してください（専門用語辞書および電子辞書の使用は認めません）。

■法学研究科

専攻	受験上の注意	1 時 限 目	口述試験
		9:10~12:10 (180分)	
法学	9:00 ┆ 9:10 (10分)	外国語科目1科目および日本語による自己の専修科目1科目の計2科目 (1) 外国語科目は母国語を除く、英語、独語、仏語の中から1か国語の和訳。ただし、外国語科目に代えて、「日本語による小論文」を選択することができます。 (2) 日本語による自己の専修科目として、法社会学、日本法制史、西洋法制史、中国法制史、憲法、行政法、税法、民法、商法・会社法、民事訴訟法、刑法、刑事学、労働法、経済法、知的財産法、社会保障法、国際法、EU法、政治学、行政学、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治史、国際政治学の中から、自己の専修科目1科目を選択。専修科目で「商法」および「会社法」を選択する場合の試験科目は、「商法・会社法」を選択してください。	筆記試験合格者に実施(注1)

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

法学研究科 六法等の持ち込みについて

(1) 外国語科目または日本語による小論文

・外国語科目の試験では、語学辞書の使用を許可しますので、各自持参してください(専門用語辞書および電子辞書は使用不可)。

なお、「日本語による小論文」を受験する者は語学辞書の使用はできません。

(2) 日本語による自己の専修科目

・六法、条約集の使用を許可しますので、各自持参してください(電子辞書、専門分野六法、判例および解説付きは使用不可)。

■文学研究科

専攻	コース	受験上の注意	1 時 限 目	口述試験
			(専 門 科 目) 9:10~10:40 (90分)	
日 本 語 日 本 文 学	日 本 語 学 日本文学文化	9:00 ┆ 9:10 (10分)	日本語文章の読解と表現、および日本語による専修科目の試験	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)

○入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「日本語文章の読解と表現」および自己の専修科目名を記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

専攻	受験上の注意	1 時 限 目	口述試験
		(専 門 科 目) 9:10~10:40 (90分)	
哲 学	9:00 ┆ 9:10 (10分)	哲学に関連する一般的知識についての設問および哲学に関する小論文	筆記試験終了後受験者全員に実施(注1)
歴 史 学		自己の専修する科目のうち、研究しようとする時代についての小論文	
地 理 学		日本語による地理学に関する基礎的知識	
社 会 学		日本語による社会学に関する基礎的知識と専門領域に関する論述問題	
心 理 学		日本語による専修科目の試験 ※臨床心理学領域を志望する受験生は、必ず臨床心理学領域の問題を選択すること	

○哲学専攻、歴史学専攻、社会学専攻志願者は入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「専門科目」と記入してください。

○地理学専攻志願者は、入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「地理学」と記入してください。

○心理学専攻志願者は、入学志願書および写真カード、受験票の受験科目欄に「心理学」と記入してください。

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

(注1) 口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

■経営学研究科

専攻	コース	受験上の 注意	筆記試験	口述試験
			9:10~11:10 (120分)	
経営学	経営学	9:00 }	日本語（小論文）を1科目と、経営学、経済学、マーケティング、会計学、コンピュータ科学、統計学の6科目から1科目選択	筆記試験合格者に実施（注1）
	情報管理	9:10 (10分)		

○筆記試験は、7頁の参考書を必ず確認してください。

○口述試験は、志望理由、研究計画、専門分野の知識および入学後の生活計画を中心に行います。

（注1）口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

■商学研究科

専攻	コース	方式	書類 選考	受験上の 注意	1 時 限 目 (専 門 科 目)	口述試験
					9:10~10:40 (90分)	
商 学	アカデミック	C	—	9:00 } 9:10 (10分)	商業学、経営学および経済学の中から 1科目選択	筆記試験終了後受験 者全員に実施（注1）
		D (注2)	実施 (注3)	—	—	書類選考合格者に実 施（注4）
	ビ ジ ネ ス	C	—	9:00 } 9:10 (10分)	商業学、経営学および経済学の中から 1科目選択	筆記試験終了後受験 者全員に実施（注1）
		D (注2)	実施 (注3)	—	—	書類選考合格者に実 施（注4）
会 計 学	アカデミック	C	—	9:00 } 9:10 (10分)	財務会計、管理会計から1科目選択	筆記試験終了後受験 者全員に実施（注1）
		D (注2)	実施 (注3)	—	—	書類選考合格者に実 施（注4）

○口述試験は、専門に研究しようとする分野を中心に行います。

（注1）口述試験の実施時間、場所については筆記試験当日に指示します。

（注2）次の①または②のいずれかを満たす証明書を提出した受験生のみ選択することができます。ただし、「日本語能力の確認のための個別審査」を必要とするものは該当しません。また、税理士試験科目免除希望者は除きます。

①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが主催する平成22年度以降に行われた日本語能力試験のN1に合格し、かつ120点以上を得点した者

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する入学試験実施日より直近4回の日本留学試験を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち350点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち35点以上を得点した者

（注3）書類選考は、研究計画書等志願書類をもとに行います。

（注4）口述試験の実施時間、場所については書類選考の結果通知とともに速達郵便で通知します。

[結果通知発送日：（第I期）令和7（2025）年9月26日付、（第II期）令和8（2026）年2月13日付]

II. 出 願

1. 出願資格

- (1) 一般入学試験
- (2) 社会人入学試験
- (3) 外国人留学生入学試験
- (4) 個別の入学資格審査について
 - (1) 出願資格の確認のための個別審査
 - (2) 日本語能力の確認のための個別審査

2. 入学検定料

3. 出願書類・出願方法

4. 入学志願書における記入上の注意

5. 受験および修学上の配慮が必要な方の出願について

II. 出 願

1. 出願資格

(1) 一般入学試験

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者または令和 8（2026）年 3 月卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者〔注1〕
- (7) 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの（令和 8（2026）年 4 月 1 日現在）〔注2〕

〔注1〕中国の3年制大学（専科）の卒業生及び高等教育自学考试等は該当しません。個別の入学資格審査（30頁参照）が必要になります。

〔注2〕(9)により出願を希望する者は、30頁「個別の入学資格審査について」を参照してください。

(2) 社会人入学試験

○ 経済学研究科

大学院入学時において27歳（令和 8（2026）年 4 月 1 日現在）以上の者で、「一般入学試験の出願資格」に該当するもの

○ 法学研究科

「一般入学試験の出願資格」に該当し、出願時まで2年以上の社会経験がある者

○ 文学研究科

大学院入学時において大学卒業後2年以上経過した者（令和 6（2024）年 3 月以前に大学を卒業した者）

ただし、以下の専攻・コースについては、次に該当する場合に出願できる。

- (ア) 日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース志願者で、大学を卒業していない者は、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合。
- (イ) 社会学専攻志願者で、大学卒業後2年以上経過し、日本語を母国語としない者は、独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが実施する平成22年度以降に行われた日本語能力試験のN1に合格した場合。
- (ウ) 心理学専攻志願者で、大学卒業後2年以上経過していなくても、大学卒業後1年以上心理学関連の職業（教育、医療、司法、福祉および企業の広告、調査、研究開発部門等）に従事している場合。

○ 経営学研究科

大学卒業者（卒業見込みの者を含む）で、社会経験が3年（令和 8（2026）年 4 月 1 日現在）以上あるもの

○ 商学研究科

大学院入学時（令和8（2026）年4月1日現在）において大学卒業後2年以上の社会経験のある者

（3）外国人留学生入学試験

外国籍を有し、次の出願資格(1)および(2)に該当する者で、かつ、出願条件を満たしているもの

出 願 資 格

(1) 次の①～④のいずれかに該当する者であること

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- ② 日本の大学の学部にて外国人留学生として入学し、同学部を卒業した者または卒業見込みの者
- ③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者〔注1〕
- ④ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの（令和8（2026）年4月1日現在）。〔注2〕

〔注1〕中国の3年制大学（専科）の卒業生及び高等教育自学考试等は該当しません。個別の入学資格審査（30頁参照）が必要になります。

〔注2〕④により出願を希望する者は、30頁「個別の入学資格審査について」を参照してください。

(2) 次の①～③のいずれかを満たす者であること。ただし、本学学部の卒業・卒業見込みまたは本学大学院の修了・修了見込みの者は、その必要がない。

- ① 独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが主催する平成22年度以降に行われた日本語能力試験のN1に合格した者
- ② 独立行政法人日本学生支援機構が実施する次に掲げる日本留学試験を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち315点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち35点以上を得点した者

第Ⅰ期入学試験	第Ⅱ期入学試験
ア 2023年度の第2回（2023年11月実施分）	ア 2024年度の第1回（2024年6月実施分）
イ 2024年度の第1回（2024年6月実施分）	イ 2024年度の第2回（2024年11月実施分）
ウ 2024年度の第2回（2024年11月実施分）	ウ 2025年度の第1回（2025年6月実施分）
エ 2025年度の第1回（2025年6月実施分）	エ 2025年度の第2回（2025年11月実施分）

- ③ ①および②を満たしていない、次のアまたはイに掲げる者であって、出願に先立って本学大学院が行う「日本語能力の確認のための個別審査」（下記（注）参照）において、日本語能力が本学大学院修士課程における研究および学位請求論文作成等に支障のない水準であると認められたもの

ア 日本国籍から外国籍に変更した者

イ 外国籍であるが日本語を母語としている者

（注）…③により出願を希望する者は、31頁「日本語能力の確認のための個別審査」を参照してください。

出 願 条 件

本学入学後、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または「留学」に変更できることを原則とする。

※出願資格・条件について不明な点がある場合（特に外国の大学出身者）は、出願に先立って、大学院事務課まで、お問い合わせください。

（４）個別の入学資格審査について

個別の入学資格審査を受ける必要がある場合、以下の要領に従い、書類を提出してください。審査で認められた場合のみ、出願することができます。

（１）出願資格の確認のための個別審査

① 審査対象

一般入学試験出願資格（28頁）の(9)または外国人留学生入学試験（29頁）の(1)④により出願を希望する者

② 対象入学試験制度・研究科

一般入学試験	全研究科
社会人入学試験	経済学研究科・法学研究科・文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース
外国人留学生入学試験	全研究科

③ 問い合わせ先

出願書類の提出の前に以下の校舎の大学院事務課にお問い合わせください。

- ・経済学研究科、文学研究科、経営学研究科 … 生田校舎
- ・法学研究科、商学研究科 … 神田校舎

※最終頁の「事務取扱時間」を確認のうえ、お問い合わせください。

④ 提出書類

○出願書類のうち自筆の書類は、必ず黒のペンまたはボールペン（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）で記入してください。

項 目	記入・提出上の注意
入 学 志 願 書 （個別の入学資格審査志願書）	出願を希望する入学試験の「3. 出願書類・出願方法」（33頁～）の【出願書類】の記入方法・提出上の注意と「4. 入学志願書における記入上の注意」（37頁～）を参照してください。
最終学校の卒業（卒業見込）証明書	
最 終 学 校 の 成 績 証 明 書	
日 本 語 能 力 の 確 認 書 類	
住 民 票	・「個別の入学資格審査志願者用」（本学所定用紙） ※本学ホームページ上に掲載しています。各自でダウンロードのうえ、使用してください。
研 究 計 画 書	
個別の入学資格審査結果通知用封筒 （切手不要）	・各自で用意してください。 ・封筒のサイズ…定型長3サイズ（縦23.5cm × 横12cm） ※返送先の住所、氏名を必ず記載してください。

⑤ 提出方法・提出期間

- ・郵送（締切日必着）または大学院事務課へ16：00までに持参してください。

	提出期間（郵送必着または持参）	結果通知日
第Ⅰ期入学試験	令和7（2025）年7月14日（月） ～令和7（2025）年7月28日（月）	令和7（2025）年8月8日（金）
第Ⅱ期入学試験	令和7（2025）年11月26日（水） ～令和7（2025）年12月10日（水）	令和7（2025）年12月24日（水）

※ 郵送の場合には、封筒の表書きに「個別の入学資格審査書類在中」と朱書きしてください。

※ 審査結果は、本人宛に結果通知日付で郵送します。

⑥ 提出先

- ・経済学研究科、文学研究科、経営学研究科…生田校舎
- ・法学研究科、商学研究科…神田校舎

⑦ 審査方法

- ・出願書類を総合的に審査して判定します。
- ・必要に応じて面接を実施する場合があります。

(2) 日本語能力の確認のための個別審査

① 審査対象

以下の者は出願に先立って日本語能力の確認のための個別審査を必要とします。

- 外国人留学生入学試験の出願資格（29頁）の(2)①および②を満たしていない、次のアまたはイに掲げる者
- ア 日本国籍から外国籍に変更した者
- イ 外国籍であるが日本語を母語としている者

② 対象入学試験制度・研究科

外国人留学生入学試験を実施する研究科

③ 問い合わせ先

出願書類の提出の前に以下の校舎の大学院事務課にお問い合わせください。

- ・経済学研究科、文学研究科、経営学研究科…生田校舎
- ・法学研究科、商学研究科…神田校舎

※最終頁の「事務取扱時間」を確認のうえ、お問い合わせください。

④ 提出書類

- 出願書類のうち自筆の書類は、必ず黒のペンまたはボールペン（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）で記入してください。

項 目	記入・提出上の注意
入 学 志 願 書 (個別の入学資格審査志願書)	出願を希望する入学試験の「3. 出願書類・出願方法」(33頁～)の【出願書類】の記入方法・提出上の注意と「4. 入学志願書における記入上の注意」(37頁～)を参照してください。
最終学校の卒業(卒業見込)証明書	
最終学校の成績証明書	
住 民 票	
日 本 語 能 力 個 別 審 査 願	A4判用紙1枚(書式自由)に自筆にて、表題として「日本語能力個別審査願」と氏名を明記の上、日本語学習歴を含めた学歴、日本語を母語としている状況等を記入してください。
個 別 審 査 結 果 通 知 用 封 筒 (切 手 不 要)	・各自で用意してください。 ・封筒のサイズ…定型長3サイズ(縦23.5cm × 横12cm) ※返送先の住所、氏名を必ず記載してください。

⑤ 提出方法・提出期間

- ・郵送(締切日必着)または大学院事務課へ16:00までに持参してください。

	提出期間(郵送必着または持参)	結果通知日
第Ⅰ期入学試験	令和7(2025)年7月14日(月) ～令和7(2025)年7月28日(月)	令和7(2025)年8月8日(金)
第Ⅱ期入学試験	令和7(2025)年11月26日(水) ～令和7(2025)年12月10日(水)	令和7(2025)年12月24日(水)

※ 郵送の場合には、封筒の表書きに「個別の入学資格審査書類在中」と朱書きしてください。

※ 審査結果は、本人宛に結果通知日付で郵送します。

⑥ 提出先

- ・経済学研究科、文学研究科、経営学研究科 … 生田校舎
- ・法学研究科、商学研究科 … 神田校舎

⑦ 審査方法

- ・出願書類を総合的に審査して判定します。
- ・必要に応じて面接を実施する場合があります。

2. 入学検定料

35,000円

ただし、令和7（2025）年度に内閣府により「激甚災害」として指定された災害に遭い、公的機関が発行する罹災・被災証明書を提出した者は、入学検定料を免除します。詳細については、大学院事務課へお問い合わせください。

【納入方法】

納入方法は別掲の「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照してください。本学窓口での支払はできません。また、払込済の入学検定料は返還できません。

利用可能なコンビニエンスストア：セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ

利用可能なクレジットカード：VISA、Master、JCB、AMEX

※検定料の他に事務手数料が別途かかります。

【納入上の注意】

収納証明書は出願書類になります。出願期間（締切日消印有効）に郵送できるよう余裕をもって納入を完了してください。

【問い合わせ先】

納入方法に関する問い合わせ先は以下になります。

E-サービスサポートセンター（<https://e-shiharai.net/>）

TEL 0120-977-336（毎日24時間対応）

3. 出願書類・出願方法

【出願書類】

- 出願書類のうち本学所定用紙については、大学院ホームページ上に掲載しています。各自でダウンロードのうえ使用してください。
- 出願書類のうち自筆の書類は、必ず黒のペンまたはボールペン（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）で記入してください。

提出書類	記入方法・提出上の注意
1. 入学志願書〔本学所定用紙〕	・「4. 入学志願書における記入上の注意」(37頁)を参照のうえ、自筆で記入してください。 ・外国籍の者（特別永住者は除く）は、2頁も記入してください。 ・外国籍の者は、住民票に記載の本名を用いてください。ただし、日本名も同時に登録してある者は、日本名を用いてもかまいません。この場合、すべての出願書類の氏名は統一してください。
2. 卒業（卒業見込）証明書	・いずれもコピー不可、厳封不要です。 ・出身大学等の証明書を提出してください。 ・外国の大学の卒業（卒業見込）証明書で取得学位（学士）の記載がない場合には、学位取得証明書も併せて提出してください。 ・〔重要〕中国の大学を卒業した者は、卒業（卒業見込）証明書・学位取得証明書・成績証明書を郵送後、4日以内（土日祝日を除く）に卒業証書（原本）と学位証書（原本）を大学院事務課窓口を持参してください。 ・証明書が日本語、英語以外で記載されている場合には、日本語または英語の訳文を添付してください。 ・本学学部卒業者、本学大学院修了・修了見込者の場合も、卒業証明書や修了（修了見込）証明書を必ず提出してください（入学金減免のため）。 ・卒業（卒業見込）証明書は成績証明書に同様の内容が記載してある場合は、提出の必要はありません。ただし、学位の取得が卒業証明書のみに記載されている場合や外国の大学を卒業した場合は、両方提出してください。 ・外国の大学を卒業した場合は、入学年月と卒業年月が分かるものを提出してください。 ※編入学または学士入学で大学に入学している場合には、前所属学校（短期大学、大学等）の成績証明書も必ず提出してください。
3. 成績証明書	
4. 写真カード〔本学所定用紙〕	・志願時期（第Ⅰ期または第Ⅱ期）を○で囲んでください。 ・志望する「入学試験制度」「研究科」「専攻」「コース」「専修科目」「受験科目」「氏名」を記入してください。 ・写真は入学志願書と同一のものを貼付してください。
5. 受験票、入学検定料収納証明書貼付〔本学所定用紙〕	・志願時期（第Ⅰ期または第Ⅱ期）を○で囲んでください。 ・志望する「入学試験制度」「研究科」「専攻」「コース」「専修科目」「氏名」「受験科目」を記入してください。 ・住所は確実に受験票を受け取れる日本国内の住所を記入してください。 ・納入を証明する書類を貼り付けてください。枠内に貼りきれない場合は「別紙参照」と記入し、別紙（A4判に限る）で提出してください。
6. 研究計画書〔本学所定用紙〕	・各研究科専攻の入試制度の所定用紙を提出してください。 ※文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース志願者は、所定用紙での研究計画書の提出は不要です。
7. 入学後の研究計画または卒業論文等	以下の入試制度、研究科専攻の志願者は提出してください。 〔一般入学試験〕 ・文学研究科歴史学専攻（注1） ・文学研究科心理学専攻（B方式）（注2） 〔社会人入学試験〕 ・文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース（注3）
8. 自己の研究のテーマ	以下の入試制度、研究科専攻の志願者は提出してください。 〔一般入学試験〕 ・文学研究科日本語日本文学専攻（注4） ・文学研究科ジャーナリズム学専攻（注5）

9. 日本語能力の確認書類	【外国人留学生入学試験】 ・日本語能力試験の場合、日本語能力試験「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。コピー不可、厳封不要です。なお、 <u>日本語能力試験成績通知書は確認書類にはなりません。</u> ・日本留学試験の場合、29頁の出願資格(2)の②の試験のうち、本人が選考資料として希望する日本留学試験の「成績確認書」を出力し、提出してください。 ・日本語能力の確認のための個別審査で認められた者は提出の必要はありません。 ・本学学部の卒業・卒業見込みまたは本学大学院の修了・修了見込みの者が出願する場合は、提出の必要はありません。ただし、商学研究科D方式で出願する場合は提出してください。
10. 出願資格等の確認書類	以下の研究科専攻の志願者は提出してください。 ・文学研究科心理学専攻（公認心理師希望者）（注6） ・文学研究科心理学専攻（C方式）（注7） ・商学研究科商学専攻・会計学専攻アカデミックコース（B方式）（注8） ・商学研究科商学専攻・会計学専攻の社会人入学試験制度（注9）
11. 書類選考の結果通知用封筒（切手不要）	以下の研究科専攻の志願者は 各自で用意してください。 ・経済学研究科経済学専攻C方式の志願者 ・文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース、心理学専攻B方式およびジャーナリズム学専攻の志願者 ・商学研究科商学専攻ビジネスコースおよび会計学専攻プロフェッショナルコースの社会人入学試験制度の志願者 ・商学研究科外国人留学生入学試験D方式の志願者 [封筒のサイズ] 定型長3サイズ（縦23.5cm×横12cm） ※返送先の住所、氏名を必ず記載してください。
12. 住民票（国籍・在留資格・在留期間とその満了の日、在留カード等の番号の記載のあるもの）	外国籍の者のみ提出してください。 (A) 国内居住者は国籍・在留資格・在留期間とその満了の日、在留カード等の番号の記載のある住民票（3ヶ月以内に発行されたもので、コピー不可）を提出してください。 ※居住する市区町村の役所で発行の申請を行ってください。 (B) 日本国外居住者は出願の前に、パスポートまたは身分を証明できる書類を大学院事務課に持参してください。 ※在留資格が短期滞在の場合には出願の前に大学院事務課にお問い合わせください。

（注1）… 文学研究科歴史学専攻一般入学試験志願者は、卒業論文のコピー1部および卒業論文の要旨（2,000字程度、A4判、ワープロ横書き）を提出してください。出願時点で卒業論文執筆中の場合は、論文の概要レポートを提出してください（2,000字程度、A4判、ワープロ横書き）。卒業論文を課さない学部等の出身者の場合は、自己の研究テーマについてこれまで勉強したことについてのレポート（例えば読了した研究文献をあげ、その概要、研究上の意義を記すなど）を提出してください（2,000字程度、A4判、ワープロ横書き）。

（注2）… 文学研究科心理学専攻一般入学試験B方式志願者は、心理学に関する卒業論文もしくはそれに相当する論文等（コピー可）および要旨（2,000字程度、A4判、日本語、ワープロ横書き）を提出してください。

（注3）… 日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース志願者は、入学後の自己の研究テーマについて日本語による研究計画書（研究テーマを設定するに至った経緯、入学後の研究計画について5,000字程度、A4判横書き、PC・ワープロ等を使用し、図表を含め6枚以内）および日本語のプロフェッショナルとしての経歴（1,000字程度、A4判横書き、PC・ワープロ等を使用し、1枚以内）を提出してください。

（注4）… 文学研究科日本語日本文学専攻一般入学試験志願者は専修科目に関する「自己の研究テーマ」について以下の形式に従い提出してください。ただし、専修大学文学部日本語学科・日本文学文化学科（日本語日本文学科・国文学科）、国際コミュニケーション学部日本語学科出身者は提出を免除します。

（形式）・400字詰め原稿用紙（縦書）10枚前後（本文部分）

・日本語学を専修する者は、ワープロ横書き（4,000字程度）でも可

（注5）… 文学研究科ジャーナリズム学専攻志願者は、専修科目に関する「自己の研究テーマ」について、3,000字程度（ワープロ横書きで、A4判、1行40字）を出願時に提出すること。また、すでに公表済みのジャーナリズム学領域の成果物や実務実績がある場合は添付すること。なお、筆記試験において「自己の研究・業績に関する小論文」を選択予定の者は、必ず成果物、職務実績等を添付すること。

（注6）… 公認心理師の資格取得希望者は、必要な単位を修得、もしくは履修していることを証明する書類を次のとおり提出してください。

	書類内容	卒業した者	卒業見込みの者
1	公認心理師 科目単位修得・履修状況報告書（所定用紙）	○	○
2	履修中の科目を示す証明書		○*
3	単位修得科目及び履修科目が公認心理師科目に該当していることを示す根拠資料（出身大学のウェブページに対応表等が公開されている場合はそのURL情報も提出してください）	○	○

※履修中の科目がある場合

（注7）… 出願締切日から2年以内に受験した TOEFL (iBT)、TOEIC のいずれかのスコアの写しを提出してください。

（注8）… 入学試験実施日から2年以内の実用英語技能検定、TOEFL (iBT)、TOEIC のいずれかのスコアの写しを提出してください。

（注9）… 2年以上の社会経験を示す内容について、A4判用紙1枚程度、自由書式

【出願上の注意】

- (1) 出願書類に不備があるものは一切受け付けません。
- (2) 入学後、出願に際して提出した書類、記載事項に不正が認められた場合は、入学を取り消すことがあります。
- (3) 結婚等で証明書と現在の氏名が異なる場合には、氏名の変更を証明する書類（戸籍抄本等）を添付してください。
- (4) 一度受理した出願書類は返還できません（卒業論文は後日返還します）。
- (5) 出願後、研究科・専攻・コースおよび試験科目の変更は認めません。

【出願方法】

- ・出願時は出願書類一式を、市販の封筒（角2）に入れて「出願用封筒貼付用紙」を貼付のうえ郵送してください。
- ・「出願用封筒貼付用紙」はカラーで印刷してください。カラー印刷ができない場合は、白黒印刷後に「速達」「書留速達」箇所を赤色のペンで上書きしてください（朱字でない場合は、郵便局で正しく取り扱われない可能性があります）。
- ・出願は締切日の消印有効です。郵送時は「書留速達」で提出してください（普通郵便は不可）。
- ・卒業論文を提出する志願者は、卒業論文（1部）および要旨とその他の書類を出願用封筒貼付用紙を貼付けた封筒に入れたものと併せて、宅配便等で、締切日（消印有効）までに大学院事務課生田校舎に送付してください。

※郵送する前に必ず次頁の出願書類の確認を行ってください。

出願書類提出確認表

記入方法・提出上の注意（33頁～）を確認のうえ、準備してください。○印は志願者全員に準備いただく書類です。

入試制度	提出書類	経済学	法学	文学	経営学	商学
一般	①入学志願書	○	○	○	○	○
	②卒業（卒業見込）証明書	○	○	○	○	○
	③成績証明書	○	○	○	○	○
	④写真カード	○	○	○	○	○
	⑤受験票、入学検定料収納証明書貼付	○	○	○	○	○
	⑥研究計画書〔本学所定用紙〕	○	○	○	○	○
	⑦入学後の研究計画または卒業論文等	—	—	歴史学専攻（注1） 心理学専攻B方式 （注2）	—	—
	⑧自己の研究のテーマ	—	—	日本語日本文学専攻 （注4） ジャーナリズム学専攻 （注5）	—	—
	⑨日本語能力の確認書類	—	—	—	—	—
	⑩出願資格等の確認書類	—	—	心理学専攻（公認 心理師希望者） （注6） 心理学専攻C方式 （注7）	—	アカデミックコースB方式（注8）
	⑪書類選考の結果通知封筒（切手不要）	C方式	—	心理学専攻B方式 ジャーナリズム学専攻	—	—
	⑫住民票（国籍・在留資格・在留期間 とその満了の日、在留カード等の番 号の記載のあるもの）	外国籍の方は提出してください。				
社会人	①入学志願書	○	○	○	○	○
	②卒業（卒業見込）証明書	○	○	○	○	○
	③成績証明書	○	○	○	○	○
	④写真カード	○	○	○	○	○
	⑤受験票、入学検定料収納証明書貼付	○	○	○	○	○
	⑥研究計画書〔本学所定用紙〕	○	○	○ （日本語日本文学専攻 日本語プロフェッショ ナルコース除く）	○	○
	⑦入学後の研究計画または卒業論文等	—	—	日本語日本文学専攻 日本語プロフェッショ ナルコース（注3）	—	—
	⑧自己の研究のテーマ	—	—	—	—	—
	⑨日本語能力の確認書類	—	—	社会学専攻 （外国籍の方）	—	—
	⑩出願資格等の確認書類	—	—	心理学専攻（公認 心理師希望者） （注6）	—	○（注9）
	⑪書類選考の結果通知封筒（切手不要）	C方式	—	日本語日本文学専攻 日本語プロフェッショ ナルコース	—	商学専攻ビジネスコース 会計学専攻プロフェッショナルコース
	⑫住民票（国籍・在留資格・在留期間 とその満了の日、在留カード等の番 号の記載のあるもの）	外国籍の方は提出してください。但し、在留資格が「留学」の場合は出願できません。				
外国人 留学生	①入学志願書	○	○	○	○	○
	②卒業（卒業見込）証明書	○	○	○	○	○
	③成績証明書	○	○	○	○	○
	④写真カード	○	○	○	○	○
	⑤受験票、入学検定料収納証明書貼付	○	○	○	○	○
	⑥研究計画書〔本学所定用紙〕	○	○	○	○	○
	⑦入学後の研究計画または卒業論文等	—	—	—	—	—
	⑧自己の研究のテーマ	—	—	—	—	—
	⑨日本語能力の確認書類	○	○	○	○	○
	⑩出願資格等の確認書類	—	—	心理学専攻（公認 心理師希望者） （注6）	—	—
	⑪書類選考の結果通知封筒（切手不要）	C方式	—	—	—	D方式
	⑫住民票（国籍・在留資格・在留期間 とその満了の日、在留カード等の番 号の記載のあるもの）	○	○	○	○	○

※（注1～9）は33～34頁を参照

4. 入学志願書における記入上の注意

入学志願書（1頁）	
・〔第Ⅰ期・第Ⅱ期〕の該当する志願時期を○で囲んでください。 ・「入学志願書」、「個別の入学資格審査志願書」のうち「入学志願書」を○で囲んでください。 ・個別の入学資格審査該当者は、「個別の入学資格審査志願書」を○で囲んでください。 ・※印欄は記入しないでください。	
項 目	記 入 方 法 ・ 記 入 上 の 注 意
入 試 制 度	・「一般」・「社会人」・「外国人留学生」のいずれか該当する制度を○で囲んでください。
研 究 科 ・ 専 攻	・志願する「研究科」、「専攻」を記入してください。「コース」は経済学研究科、文学研究科日本語日本文学専攻、経営学研究科、商学研究科志願者のみ記入してください。
入 試 方 式	・経済学研究科、文学研究科心理学専攻一般入試および商学研究科の一般入試アカデミックコース・外国人留学生入試の志願者は志望する方式を○で囲んでください。
専 修 科 目	・別掲出の「令和8年度学生募集教員一覧」を参照のうえ、記入してください。 ・経済学研究科エコノミックスコース志願者は、記入する必要はありません。
指 導 教 授	・別掲出の「令和8年度学生募集教員一覧」の各研究科の「指導教授の選択について」を参照のうえ、指導教授として選択可能な教員の中から選択し、記入してください。 ・文学研究科心理学専攻で、一般入試B方式以外の志願者は、記入の必要はありません。
氏 名	・フリガナは必ずカタカナで記入してください。 ・外国籍の者は、住民票に記載の本名を用いてください。ただし、日本名も同時に登録してある者は、日本名を用いてもかまいません。この場合、すべての出願書類の氏名は統一してください。
性 別	・該当する性別を○で囲んでください。
生 年 月 日 ・ 年 齢	・西暦で記入してください。2026年4月1日現在の年齢を記入してください。 （生まれた時点を1歳と数えないこと）
出 身 大 学 所 在 地	・日本の学校の場合には、自分が卒業した所属学部のある都道府県名を記入してください。 ・外国の学校の場合には、「外国の学校」と記入してください。
写 真	・縦4cm×横3cmで最近3か月以内に撮影したもので、写真カードの写真と同一のものを使用してください（脱帽上半身正面、背景のないもの）。 ・裏面に志願する研究科・専攻、氏名を記入のうえ貼付してください。
ロ ー マ 字 氏 名	・外国籍の者のみ記入してください。パスポート記載のアルファベットで姓・名（Middle Name含む）を記入してください。
国 籍	・外国籍の者のみ国名を記入してください。
入 学 後 の 住 所	・該当するものを○で囲んでください。
連 絡 先 住 所 （日 本 国 内）	・合格通知および入学関係書類が受信できる日本国内の住所を記入してください。 ・志願者本人と連絡の取れる住所および電話番号（市外局番含む）を記入してください（携帯電話も可）。 ・電話が呼び出しの場合にはその旨を記入してください。
E - m a i l	・E-mail アドレスがある場合は記入してください。
職 業 入 学 後 の 勤 務	・該当するものを○で囲んでください。
取 得 資 格	・取得した資格と取得年月を記入してください。
学 歴	・高等学校からの学歴を記入してください。科目等履修生や大学への編入学・学士入学は併せて記入してください。その他の学歴がある場合にも記入してください。 ・学部の学位の欄は、該当するものを○で囲んでください。 ・学部以外の学位を取得した場合は、その学位名「例：修士（〇〇）」と記入してください。
職 歴	・職歴がある場合は記入してください。 ・最近のものから記入してください（アルバイトは除く）。
卒業論文名・その他の論文名	・論文名（副題を含む）を記入してください（論文がない場合は空欄でかまいません）。
受 験 科 目	・受験する科目を筆記試験の実施時限ごとに分けて所定の記入欄に記入してください。 ※経済学研究科C方式、文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコースおよび商学研究科の外国人留学生試験D方式・商学専攻ビジネスコースと会計学専攻プロフェッショナルコースの社会人入学試験では記入の必要はありません。
修士課程修了後の進路	・現時点で希望する進路について該当するものを○で囲んでください。

※外国籍の者（特別永住者は除く）は、2頁も記入してください。

【記入例】

令和8年度 専修大学大学院 修士課程（第Ⅰ期・第Ⅱ期入学試験）

入 学 志 願 書

（個別の入学資格審査志願書）

2026

※ ※

入試制度	一般・社会人・外国人留学生		受験番号	※	
研究科	商学 研究科	専攻 商学 (アカデミックコース)	入試方式	A・B・C・D・E	
専修科目	マーケティング	指導教授	生田太郎教授		
フリガナ	センシュウダイスケ			性別	
氏名	専修大輔			男1・女2	
生年月日・年齢	西暦 2002 年 10 月 30 日 (23 歳)		出身大学所在地	東京 (都道府県)	
注) 2026年4月1日現在の年齢を記入してください。			※		
ローマ字氏名 (外国籍の者のみ記入)			国籍 (外国籍の者のみ記入)	※	※
			入学後の住所 連絡先住所と (同一 Y)・転居 N		
連絡先住所 (日本国内)	〒214-8580 神奈川県 川崎市 多摩区東三田2-1-1				
E-mail	daisuke_s @ daigaku.co.jp				
職業	有り Y ・ なし N		左記で「有り」と答えた方で、入学後の勤務は？		1. 継続する 2. 退職する 3. 休職する 4. 未定
取得資格	西暦 年 月取得		西暦 年 月取得		西暦 年 月取得
学歴 高等学校から記入し、科目等履修生も記入すること	西暦 2018 年 4 月 ~ 西暦 2021 年 3 月 卒業		年数 3		※
	神奈川県 国立公立私立 専修 高等学校				
	西暦 2021 年 4 月 ~ 西暦 2025 年 3 月 (卒業・見込み)		学位 (有)・無		年数 4
	国立公立私立 専修 大学 商 学部 マーケティング 学科 専攻				※
	西暦 年 月 ~ 西暦 年 月 修了・見込み		学位		年数
	国立公立私立 大学大学院 課程 研究科 専攻				※
西暦 年 月 ~ 西暦 年 月		学位		年数	※
西暦 年 月 ~ 西暦 年 月		学位		年数	※
職歴	*職歴は、最近のものから記入してください（アルバイトは除く）。				
	西暦 2025 年 4 月 ~ 西暦 2025 年 9 月 専修商事				
	西暦 年 月 ~ 西暦 年 月				
卒業論文名			その他の論文名		
受験科目	1時間目		2時間目		修士課程 修了後の進路
	英語		商業学		就職・進学

- ※印欄は記入しないでください。
- 専攻記入欄のコースを必ず記入してください（経済学研究科・文学研究科日本語日本文学専攻・経営学研究科・商学研究科）。
- 経済学研究科の志願者、文学研究科心理学専攻一般入試および商学研究科の一般入試アカデミックコース・外国人留学生入試の志願者は入試方式欄の志望する方式を○で囲んでください。
- ローマ字氏名欄（外国籍の者のみ）は、パスポートと同一の表記で記載してください。
- 外国籍の者（特別永住者は除く）は、2頁も記入してください。

【2頁へ続く】

志2-1

※外国籍の者（特別永住者は除く）のみ記入してください。

氏名	田 修 大		※					
外国語学習歴 ※母国語・母語を除く	外国語	履修期間			履修場所（学校等）			
	日本 語	西暦 2017 年 9 月～ 西暦 2018 年 3 月（ 年 6 ヶ月）			〇〇日本語学校			
	英 語	西暦 2018 年 9 月～ 西暦 2021 年 6 月（ 3 年 9 ヶ月）			□□大学			
	語	西暦 年 月～ 西暦 年 月（ 年 ヶ月）						
学歴 高等学校入学前までを記入。ただし、日本語学校は除く	西暦 2003 年 9 月～ 西暦 2009 年 6 月卒業					年数	6	
	△△ 小学校					※		
	西暦 2009 年 9 月～ 西暦 2012 年 6 月卒業					年数	3	
	△△ 中学校					※		
	西暦 年 月～ 西暦 年 月					年数		
						※		
西暦 年 月～ 西暦 年 月					年数			
					※			
学校教育における通算修学年数						16 年		
兵役	種類	なし		期間	西暦 年 月～ 西暦 年 月（ 年 ヶ月）			
在留資格	留 学		入国 年月日	西暦 2024 年 9 月 1 日		在留期間 満了日	西暦 2026 年 8 月 31 日	
学費および 生活費の出所	国費（文部科学省国費外国人留学生）・私費で該当するものを○で囲む					国費 ・ (私費)		
	氏名または団体名	田 生 大			関係	本人との関係 父		
	住所	△△						
帰省先	住所	△△						
	電話	〇〇-〇〇〇〇〇						
両親または 保護者	フリガナ	デン ショウダイ			年齢	60 歳	続柄	父
	氏名	田 生 大						
	住所	△△						
	電話	〇〇-〇〇〇〇〇						

※印欄は記入しないでください。

修了後の計画（就職・進学等の希望・計画について記入してください）	

入学志願書（2頁）	
項 目	記 入 方 法 ・ 記 入 上 の 注 意
氏 名	・ 1 頁と同じ氏名を記入してください。
外 国 語 学 習 歴	・ 母国語・母語以外の外国語学習歴を記入してください。
学 歴	・ 高等学校入学前までを記入してください（ただし、日本語学校は除く）。 ・ 学校教育（日本語学校を除く）における修学した年数を記入してください。
兵 役 の 有 無	・ 兵役があれば種類、期間を記入してください。
在 留 資 格	・ 在留資格と入国年月日と在留期間満了日を記入してください。
学費および生活費の出所	・ 国費（文部科学省国費外国人留学生）・私費で、該当するものを○で囲んでください。 ・ 氏名（または団体名）、本人との関係およびその住所を記入してください。
帰 省 先	・ 帰省先の住所と電話番号を記入してください。
両 親 また は 保 護 者	・ 両親（父母いずれか）または両親が健在でない場合は、保護者となる者の氏名・年齢・続柄・住所を記入してください。
修 了 後 の 計 画	・ 修了後の計画を具体的に記入してください。

5. 受験および修学上の配慮が必要な方の出願について

障がい等により、修学上の配慮が必要な方は、出願に先立って障がい学生支援室に問い合わせてください。これは、障がい等の種類・程度による修学上の困難や危険等を事前に確認した上で出願していただき、入学後の修学支援準備を速やかに進めることを目的としていますので、出願前に相談いただくことをお勧めします。

問い合わせ先：専修大学障がい学生支援室（TEL 044-946-7001）

	問い合わせ期間
第 I 期 入 学 試 験	令和7（2025）年7月14日（月）～令和7（2025）年7月28日（月）
第 II 期 入 学 試 験	令和7（2025）年11月26日（水）～令和7（2025）年12月10日（水）

Ⅲ. 受 験

1. 入学試験会場

研 究 科	専 攻	試 験 会 場
経 済 学	経 済 学	生田校舎 10号館 試験会場は、試験当日10号館入口に掲示します。
文 学	日 本 語 日 本 文 学	
	英 語 英 米 文 学	
	哲 学	
	歴 史 学	
	地 理 学	
経 営 学	経 営 学	神田校舎 7 号館 試験会場は、試験当日 7 号館 1 階ホールに掲示します。
法 学	法 学	
商 学	商 会 計 学	

以下の方式、コースの口述試験の時間および場所については、書類選考の結果とともに通知します。

- ・経済学研究科C方式
- ・文学研究科日本語日本文学専攻日本語プロフェッショナルコース
- ・商学研究科外国人留学生入学試験D方式、社会人入学試験商学専攻ビジネスコース、会計学専攻プロフェッショナルコース

2. 受験上の注意

- (1) 受験生は、「受験上の注意」が始まる10分前までに試験会場に入り、着席してください。
- (2) 遅刻（交通機関遅延によるものを含む）した場合、試験開始20分以降の入場は認めません。
- (3) 受験票は、必ず携行し、試験中は机の上に置いてください。
- (4) 外国籍の者は、出願書類に記載した氏名を用いてください。
- (5) 試験教室には時計を設置していないため、腕時計等を持参してください。なお、携帯電話等を時計代わりに使用することはできません（試験教室に入る前に電源を切ってかばんにしまってください）。辞書・計算・録音・通信等の機能を備えた時計の使用は禁止します。
- (6) 机上には、受験票、筆記用具、時計、持ち込みを認められた物以外は置くことはできません。
- (7) 試験時間内の途中退出はできません。
- (8) 試験当日は大学の売店等は営業していない場合がありますので、昼食は各自でご用意ください。
- (9) インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験生や監督者に感染するおそれがあるため受験できません。

IV. 合格発表と入学手続

1. 合格発表

合格者の発表は、合格発表日に本学ホームページで行います。
 詳細は試験日にお知らせします。
 合格者には合格発表後に速達郵便で合格通知書および入学手続書類を送付します。
 (不合格者への通知は行いません。)
 可否についての問い合わせには一切応じられませんのでご了承ください。

2. 入学手続

■入学手続

研 究 科		手続期間	
		第Ⅰ期入学試験	第Ⅱ期入学試験
経 済 学 研 究 科		令和7(2025)年10月6日(月) ～10月14日(火)	令和8(2026)年3月2日(月) ～3月9日(月)
法 学 研 究 科		令和7(2025)年10月6日(月) ～10月14日(火)	令和8(2026)年3月2日(月) ～3月9日(月)
文学研究科	日本語日本文学専攻	令和7(2025)年10月14日(火) ～10月21日(火)	令和8(2026)年3月9日(月) ～3月16日(月)
	英語英米文学専攻	令和7(2025)年10月6日(月) ～10月14日(火)	
	哲 学 専 攻	令和7(2025)年10月14日(火) ～10月21日(火)	令和8(2026)年3月2日(月) ～3月9日(月)
	歴 史 学 専 攻		
	地 理 学 専 攻		
	社 会 学 専 攻		
	心 理 学 専 攻	令和7(2025)年10月6日(月) ～10月14日(火)	
	ジャーナリズム学専攻	令和7(2025)年10月14日(火) ～10月21日(火)	令和8(2026)年3月9日(月) ～3月16日(月)
経 営 学 研 究 科		令和7(2025)年10月6日(月) ～10月14日(火)	令和8(2026)年3月2日(月) ～3月9日(月)
商学研究科	商 学 専 攻	令和7(2025)年10月14日(火) ～10月21日(火)	令和8(2026)年3月2日(月) ～3月9日(月)
	会 計 学 専 攻		

- 合格者は、入学手続期限日までに学費(完納または分納1期分)を銀行から振り込んだうえで、必要書類を入学手続係宛に郵送してください。ただし、書類の郵送は手続期限日の消印があるものまでを有効とします。
 なお、期限日までに入学手続をしない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続の際、写真1枚(脱帽、上半身、正面、背景のない、カラー、光沢仕上げ、縦4cm、横3cmのもの、最近1か月以内に撮影したもの)が必要となります。
- 一度提出した入学手続書類および納入した学費は原則として返還できません。ただし、学費納入後にやむを得ない理由によって入学の辞退を希望し、令和8(2026)年3月31日までに申し出た場合は、入学金相当額を除く「学費」を返還します。

※入学手続などについての詳細は、合格者に送付する入学手続要項を参照してください。

■学費

令和7年度学費 [参考]

学費は、入学金、授業料、施設費、教育充実費、委託徴収金から構成されています。

内 訳

経済学専攻、法学専攻、英語英米文学専攻、
ジャーナリズム学専攻、経営学専攻、商学専攻、会計学専攻

(単位：円)

項 目			1年次 (R7入学)	2年次 (R8)	合 計
入 学 金			200,000	—	200,000
授 業 料	完 納		470,000	470,000	940,000
	分 納	1 期	(119,000)	(119,000)	(238,000)
		2 期	(117,000)	(117,000)	(234,000)
		3 期	(117,000)	(117,000)	(234,000)
		4 期	(117,000)	(117,000)	(234,000)
施 設 費	完 納		120,000	120,000	240,000
	分 納	1 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
		2 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
		3 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
		4 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
教 育 充 実 費	完 納		20,000	20,000	40,000
	分 納	1 期	(5,000)	(5,000)	(10,000)
		2 期	(5,000)	(5,000)	(10,000)
		3 期	(5,000)	(5,000)	(10,000)
		4 期	(5,000)	(5,000)	(10,000)
委 託 徴 収 金	学 友 会 費		2,000	2,000	4,000
	校 友 会 入 会 金		10,000	—	10,000
完 納 (年 額)			822,000	612,000	1,434,000
分 納	1 期 分 計		366,000	156,000	522,000
	2 期 分 計		152,000	152,000	304,000
	3 期 分 計		152,000	152,000	304,000
	4 期 分 計		152,000	152,000	304,000

[日本語日本文学専攻]

(単位：円)

項 目			1年次 (R7入学)	2年次 (R8)	合 計
入 学 金			200,000	—	200,000
授 業 料	完 納		470,000	470,000	940,000
	分 納	1 期	(119,000)	(119,000)	(238,000)
		2 期	(117,000)	(117,000)	(234,000)
		3 期	(117,000)	(117,000)	(234,000)
		4 期	(117,000)	(117,000)	(234,000)
施 設 費	完 納		120,000	120,000	240,000
	分 納	1 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
		2 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
		3 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
		4 期	(30,000)	(30,000)	(60,000)
教 育 充 実 費	完 納		30,000	30,000	60,000
	分 納	1 期	(9,000)	(9,000)	(18,000)
		2 期	(7,000)	(7,000)	(14,000)
		3 期	(7,000)	(7,000)	(14,000)
		4 期	(7,000)	(7,000)	(14,000)
委 託 徴 収 金	学 友 会 費		2,000	2,000	4,000
	校 友 会 入 会 金		10,000	—	10,000
完 納 (年 額)			832,000	622,000	1,454,000
分 納	1 期 分 計		370,000	160,000	530,000
	2 期 分 計		154,000	154,000	308,000
	3 期 分 計		154,000	154,000	308,000
	4 期 分 計		154,000	154,000	308,000

〔哲学専攻〕

(単位：円)

項 目		1 年次 (R7入学)	2 年次 (R8)	合 計
入 学 金		200,000	—	200,000
授 業 料	完 納	470,000	470,000	940,000
	分 納	1 期 (119,000)	(119,000)	(238,000)
		2 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		3 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		4 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
施 設 費	完 納	120,000	120,000	240,000
	分 納	1 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		2 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		3 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		4 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
教 育 充 実 費	完 納	25,000	25,000	50,000
	分 納	1 期 (7,000)	(7,000)	(14,000)
		2 期 (6,000)	(6,000)	(12,000)
		3 期 (6,000)	(6,000)	(12,000)
		4 期 (6,000)	(6,000)	(12,000)
委 託 徴 収 金	学 友 会 費	2,000	2,000	4,000
	校友会入会金	10,000	—	10,000
完 納 (年 額)		827,000	617,000	1,444,000
分 納	1 期 分 計	368,000	158,000	526,000
	2 期 分 計	153,000	153,000	306,000
	3 期 分 計	153,000	153,000	306,000
	4 期 分 計	153,000	153,000	306,000

〔歴史学専攻、社会学専攻〕

(単位：円)

項 目		1 年次 (R7入学)	2 年次 (R8)	合 計
入 学 金		200,000	—	200,000
授 業 料	完 納	470,000	470,000	940,000
	分 納	1 期 (119,000)	(119,000)	(238,000)
		2 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		3 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		4 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
施 設 費	完 納	120,000	120,000	240,000
	分 納	1 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		2 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		3 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		4 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
教 育 充 実 費	完 納	40,000	40,000	80,000
	分 納	1 期 (10,000)	(10,000)	(20,000)
		2 期 (10,000)	(10,000)	(20,000)
		3 期 (10,000)	(10,000)	(20,000)
		4 期 (10,000)	(10,000)	(20,000)
委 託 徴 収 金	学 友 会 費	2,000	2,000	4,000
	校友会入会金	10,000	—	10,000
完 納 (年 額)		842,000	632,000	1,474,000
分 納	1 期 分 計	371,000	161,000	532,000
	2 期 分 計	157,000	157,000	314,000
	3 期 分 計	157,000	157,000	314,000
	4 期 分 計	157,000	157,000	314,000

〔地理学専攻〕

(単位：円)

項 目		1年次 (R7入学)	2年次 (R8)	合 計
入 学 金		200,000	—	200,000
授 業 料	完 納	470,000	470,000	940,000
	分 納	1 期 (119,000)	(119,000)	(238,000)
		2 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		3 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		4 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
施 設 費	完 納	120,000	120,000	240,000
	分 納	1 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		2 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		3 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		4 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
教 育 充 実 費	完 納	55,000	55,000	110,000
	分 納	1 期 (16,000)	(16,000)	(32,000)
		2 期 (13,000)	(13,000)	(26,000)
		3 期 (13,000)	(13,000)	(26,000)
		4 期 (13,000)	(13,000)	(26,000)
委 託 徴 収 金	学 友 会 費	2,000	2,000	4,000
	校友会入会金	10,000	—	10,000
完 納 (年 額)		857,000	647,000	1,504,000
分 納	1 期 分 計	377,000	167,000	544,000
	2 期 分 計	160,000	160,000	320,000
	3 期 分 計	160,000	160,000	320,000
	4 期 分 計	160,000	160,000	320,000

〔心理学専攻〕

(単位：円)

項 目		1年次 (R7入学)	2年次 (R8)	合 計
入 学 金		200,000	—	200,000
授 業 料	完 納	470,000	470,000	940,000
	分 納	1 期 (119,000)	(119,000)	(238,000)
		2 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		3 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
		4 期 (117,000)	(117,000)	(234,000)
施 設 費	完 納	120,000	120,000	240,000
	分 納	1 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		2 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		3 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
		4 期 (30,000)	(30,000)	(60,000)
教 育 充 実 費	完 納	100,000	100,000	200,000
	分 納	1 期 (25,000)	(25,000)	(50,000)
		2 期 (25,000)	(25,000)	(50,000)
		3 期 (25,000)	(25,000)	(50,000)
		4 期 (25,000)	(25,000)	(50,000)
委 託 徴 収 金	学 友 会 費	2,000	2,000	4,000
	校友会入会金	10,000	—	10,000
完 納 (年 額)		902,000	692,000	1,594,000
分 納	1 期 分 計	386,000	176,000	562,000
	2 期 分 計	172,000	172,000	344,000
	3 期 分 計	172,000	172,000	344,000
	4 期 分 計	172,000	172,000	344,000

※公認心理師資格を取得希望する者は、修士1年次・2年次でそれぞれ別途実習費用70,000円が必要となります（臨床心理士資格だけを希望する場合には、修士2年次のみ同額の実習費用が必要となります。）。

入学手続時納入額（完納または分納1期分）

（単位：円）

専攻 項目	経済学、法学、 英語英米文学、 ジャーナリズム学、経営学、 商学、会計学	日本語日本文学	哲 学	歴史学、社会学	地 理 学	心 理 学
完 納（年 額）	822,000	832,000	827,000	842,000	857,000	902,000
分納1期分	366,000	370,000	368,000	371,000	377,000	386,000

納入期間

完納または 分納1期分	入学年度は入学手続期間内、次年度以降は4月1日から4月20日まで
分納2期分	6月1日から6月20日まで
分納3期分	9月1日から9月20日まで
分納4期分	11月1日から11月20日まで
*納入期限日が銀行休業日にあたる場合は、前営業日が期限日となります。	

- 【注】 1 本法人が設置する大学の学部卒業者及び同大学院修了者については、43頁以降の学費のうち入学金、校友会入会金は徴収しません。
- 2 委託徴収金については、令和8年度以降に金額を変更する場合があります。
- 3 学費の納入方法には完納および分納があります。入学手続時に分納を選択した場合は、2・3・4期分の学費振込用紙を令和8年5月下旬に郵送します。また、令和9年度以降の学費振込用紙については、毎年3月下旬に「完納」と「分納1期分」の2種類を郵送します。

【教育ローン・提携学費ローン】

- 国の教育ローン** 入学する学生の保護者の方は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込むことができます。国の教育ローンは、教育に必要な資金を融資する公的な制度です。
- ・問い合わせ先 教育ローンコールセンター（TEL 0570-008656または03-5321-8656）
 - ・受付時間 平日 9：00～19：00（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
- 提携学費ローン** 専修大学では、入学する学生の保護者を対象に、三井住友カード株式会社とc-web学費ローンを提携しています。
- ・問い合わせ先 三井住友カードカスタマーセンター（TEL 050-3827-0375）
 - ・受付時間 10：00～17：00

詳細は本学ホームページを参照してください。（<https://www.senshu-u.ac.jp/>）

V. 奨学生制度

本大学院の学生に対して、学術研究の奨励と経済援助を目的とする奨学生制度が設けられています。各種奨学生の募集については、4月初旬にお知らせいたします。

1. 給付奨学生

(1) 大学院学術奨学生（修士）

- ①修士課程の標準修業年限（2年）の在学生（国費外国人留学生は除く）であって、学術・人物ともに優秀なもの。
- ②奨学金の額は、授業料相当額の3分の1とし、採用時に一括支給。
- ③採用期間は、1年間。
- ④募集時期は、毎年4月上旬～中旬予定。

(2) 大学院学術奨学生（博士）

- ①博士後期課程の標準修業年限（3年）の在学生（国費外国人留学生は除く）であって、学術・人物ともに優秀なもの。
- ②奨学金の額は、授業料相当額の3分の1とし、採用時に一括支給。
- ③採用期間は、1年間。
- ④募集時期は、毎年4月上旬～中旬予定。

(3) 大学院家計急変奨学生

- ①在学生であって、家計急変により修学困難なもの。
- ②奨学金の額は、授業料相当額以内とし、採用時に一括支給。
- ③募集時期は、随時。ただし、事由発生より3ヶ月以内。

(4) 大学院災害見舞奨学生

- ①在学生であって、火災、風水害などにより被災したもの。
- ②奨学金の額は、20万円以内とし、被災の状況に応じて支給額を定め、採用時に一括支給。
- ③募集時期は、随時。ただし、事由発生より3ヶ月以内。

2. 貸与奨学生

(1) 博士論文支援奨学生

- ①博士後期課程の標準修業年限（3年）の在学生であって、学位請求論文を最長在学年限（6年）内に提出するもの。
- ②奨学金の額は、授業料相当額の2分の1とし、採用時に一括無利子貸与。ただし、学位請求論文を最長在学年限内に提出したものは返還を免除する。
- ③採用は、1回を限度。
- ④募集時期は、毎年5月下旬～6月予定。

(2) 日本学生支援機構奨学生

日本学生支援機構により貸与される奨学金で、2024年度貸与月額は、第一種奨学生（無利子貸与）については修士課程で50,000円又は88,000円、博士後期課程は80,000円又は122,000円です。第二種奨学生（有利子貸与）については修士・博士後期課程ともに50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択できます。

(3) その他

地方公共団体・民間団体より奨学生の募集があります。

3. 外国人留学生を対象とした奨学生制度

- ①専修大学私費外国人留学生の学習奨励等のための授業料減免制度
 - ②国費外国人留学生奨学制度（文部科学省）
 - ③留学生受入れ促進プログラム文部科学省外国人留学生学習奨励費（独立行政法人日本学生支援機構）
 - ④その他地方自治体・民間より奨学生の募集があります。
- ※③は、令和7年度の募集を行いません。

(独) 日本学生支援機構2025年度大学院第一種奨学生及び第二種奨学生の予約採用について (お知らせ)

1. 日本学生支援機構奨学生の予約採用とは

令和7年度に向けた日本学生支援機構大学院第一種及び第二種奨学生予約採用を募集いたします。予約採用とは、優れた学生が、経済的理由により進学を断念することがないように、入学以前の早期に貸与を約束し、経済的な不安を取り除くことを目的とするものです。

なお、奨学金貸与終了後は返還の義務が生じ、毎月決められた金額を返還していただくことになりますので、十分考慮のうえお申込みください。

予約採用の特徴として、①志願者・志願希望者であっても出願ができること、②同一希望者が、複数の大学院を同時に申請できること、③入学後、本人がインターネットにより日本学生支援機構へ「進学届」を提出することにより正式採用となること、④4月から貸与が開始されること、の4点があげられます。

○貸与月額

第一種奨学金（無利子） 修士課程 5万円、8万8千円 博士後期課程 8万円、12万2千円

第二種奨学金（有利子） 修士・博士後期課程 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円

なお、その他の詳細情報については、案内パンフレットをご覧ください。

※利息年率3.0%上限最新の数字は日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

2. 対象者について

本学大学院の修士課程学内選考入学試験（全研究科）、修士課程第Ⅰ期、第Ⅱ期及び博士後期課程入試の受験希望者・志願者・合格者であれば、出願することができます。ただし、外国人留学生で在留資格が「留学等」の者及び、日本学生支援機構が定める収入基準を超えている場合等は出願することができません。条件等については、案内パンフレットの記載事項をご確認ください。

※令和6年度に創設された『修士段階における「授業料後払い制度」』は、令和7年度入学者より第一種奨学生制度の出願基準を満たした希望者であれば選択が可能です。

3. 出願から採用までの流れについて

予約採用に関する諸手続等の流れは、次のとおりとなります。

[本学入学前] ①案内パンフレット・願書入手→②出願→③面接→④推薦者の可否決定通知
→⑤採用候補者の可否決定通知

[本学入学後] ⑥正式採用（日本学生支援機構へ本人がインターネットで「進学届」を提出）

4. 案内パンフレット・願書の配付及び出願について

(1) 配付期間 令和6年9月23日（月）～10月2日（水）

(2) 出願期間 令和6年9月30日（月）～10月7日（月）

(3) 場所及び時間

[生田校舎] 2号館1階大学院事務課窓口（電話 044-911-1271）
（月～金） 9:00～12:30、13:30～17:00

[神田校舎] 7号館4階大学院事務課窓口（電話 03-3265-6568）
（月～金） 9:00～12:30、13:30～21:30

5. 面接について

採用に際しては、面接が必須となります。面接時期は概ね、10月10日（木）～21日（月）の間に本学で実施の予定です。日時・場所等の詳細については、決定次第ご連絡いたします。

6. 採用候補者の可否決定通知について

決定通知については、郵便で行います。発送時期は、1月中旬頃の予定です。

7. 正式採用について

本学に入学後、所定の手続（インターネットにより日本学生支援機構へ「進学届」を提出すること）により正式採用となります。

※令和8年度募集の詳細は決定次第、大学院の掲示板及びホームページでお知らせいたします。

※令和8年度予約採用希望の方は、大学院事務課にお問い合わせください。

※日本学生支援機構のホームページでも、奨学金情報がご覧いただけます。詳細は下記のURLをご覧ください。

<https://www.jasso.go.jp/>

VI. その他

■日本語論文対策講座

本学では入学後、修士課程1年次に在学する留学生全員を対象に、課外講座の一環として、日本語論文対策講座を開講しており、外国人留学生は必ず受講することになります。この講座は、学術論文を執筆する準備として高度な日本語の読み・書き能力の向上を目的とし、修士論文を書くために必要な日本語を学びます。詳細は入学後のガイダンスでお知らせしますが、10,000円（令和7年度実績）の受講料（教材費別）が別途かかります。

■資格取得等について

◆ 教育職員免許状（専修免許状）

学部において、すでに中学校・高等学校1種免許状を取得し、さらに専修免許状の取得を希望する者は、取得している1種免許状と同じ教科が認定されている修士課程で所定の単位を修得して修了することにより、その必要な資格を得ることができます。

◆ 公認心理師

専修大学大学院文学研究科心理学専攻では、平成30年度より国家資格である公認心理師の受験資格取得に必要な科目を開講しています。

◆ 臨床心理士

専修大学大学院文学研究科心理学専攻臨床心理学領域は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会（以下、認定協会）より第1種指定校として認定されています。この領域の修士課程修了者は、認定協会が実施する臨床心理士の資格試験を受験する資格が得られます。

ただし、専修大学大学院文学研究科心理学専攻一般入学試験B方式（第Ⅱ期入試のみ実施）で入学した場合については、臨床心理士の資格試験を受験する資格は得られません。

◆ 専門社会調査士

専修大学大学院文学研究科社会学専攻は、専門社会調査士の資格認定科目を設置している機関として社会調査協会に認定されております。社会調査士資格（大学卒で取得可）を有していれば、①資格関連科目の単位を修得し、②社会調査結果を用いた研究論文を執筆の上、③課程修了後、社会調査協会へ申請することによって専門社会調査士資格を取得することができます。

◆ GIS 専門学術士

専修大学大学院文学研究科地理学専攻は、GIS 専門学術士の資格認定科目を設置している機関として、（社）日本地理学会に指定されています。GIS 学術士の資格基準を満たす者が修士課程において一定の授業科目の単位を修得し、GIS（地理情報システム）を利用した修士論文を執筆して修士課程を修了すれば、GIS 専門学術士の資格を取得することができます。

■長期交換留学プログラム

下記の国際交流協定校に約一年間の交換留学ができる制度があります。(令和7年6月現在)

米 国 ネブラスカ大学リンカーン校、オレゴン大学
カナダ カルガリー大学
アイルランド ダブリン大学トリニティカレッジ
中 国 西北大学
台 湾 国立中山大学
韓 国 檀国大学
モンゴル モンゴル国立大学
ド イ ツ マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク
フランス リヨン政治学院
メキシコ イベロアメリカーナ大学

※在籍する研究科・専攻により留学先大学が限定される場合があります。詳細については、国際交流事務課までお問い合わせください。

※【専修大学交換留学奨学生】専修大学交換留学奨学生規程に基づき、学術研究を奨励し、国際交流を促進するための経済援助を行うことを目的とし、留学先大学に支払うべき正規の授業の学費の一部又は全部が免除されます(集中語学研修授業料を除く)。

■厚生労働省 教育訓練給付制度(一般教育訓練)

本学大学院経済学研究科、法学研究科、文学研究科心理学専攻、経営学研究科経営学専攻(経営学コース)および商学研究科(商学専攻、会計学専攻プロフェッショナルコース)は、「厚生労働大臣指定一般教育訓練講座」の指定を受けています。

- ①厚生労働省の定める受給資格を満たした者が、指定科目を修得し修了(修士の学位授与)することにより、大学に納金した入学金・授業料(初年度分のみ対象)の20%(上限10万円)の給付をハローワーク(公共職業安定所)から受けることができます。支給要件期間3年以上が受給対象となりますが、当分の間、教育訓練給付金の支給を受けたことがない者に限り、1年以上であれば、受給が可能です。
- ②上記の受給資格を有していない者(児童扶養手当支給水準の母子家庭等)についても、自立支援教育訓練給付金事業として、大学に納金した入学金・授業料の20%(上限10万円)を各地方公共団体の設置する福祉事務所より受けることができます。(未実施の自治体があるため、事前に実施有無の確認が必要です)ただし、自立支援教育訓練給付金は受講開始前に予め、受講者本人が各地方公共団体に申請し対象講座として指定を受ける必要があります。

詳細については、大学院事務課までお問い合わせください。

専修大学・石巻専修大学

「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金について（お願い）

学校法人専修大学は21世紀ビジョンとして「社会知性の開発」を掲げています。募金を通じて社会知性開発を推進していくため、専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金の募集を広く関係方面にお願いし、お力添えをいただいているところでございます。

入学者のご父母・ご家族関係者の皆様におかれましても、趣旨にご賛同いただき、任意ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。なお、募集時期につきましては入学後にご案内させていただきます。

大学院入学試験に関する事務は各校舎の大学院事務課にて下記のとおり取り扱います。

【生田校舎】 経済学研究科・文学研究科・経営学研究科

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2 - 1 - 1

電 話 044-911-1271

メールアドレス graduate@acc.senshu-u.ac.jp

曜日	受付時間
月～金曜日	10：00～12：30
	13：30～16：00
土曜日	閉室

※ 土曜日・日曜日・祝日および以下の期間の事務の取扱いはありません。

令和7年 8月12日（火）～8月15日（金）

令和7年 8月25日（月）、11月6日（木）、11月7日（金）

令和7年 12月26日（金）～令和8年 1月6日（火）

【神田校舎】 法学研究科・商学研究科

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3 - 8

電 話 03-3265-6568

メールアドレス graduate@acc.senshu-u.ac.jp

期間	受付時間	
	通常	その他（注1）
月～金曜日	10：00～12：30	10：00～12：30
	13：30～18：30	13：30～16：00
土曜日	10：00～12：30 13：30～16：00	閉室

※ 日曜日・祝日および以下の期間の事務の取扱いはありません。

令和7年 8月12日（火）～8月15日（金）

令和7年 8月25日（月）、11月6日（木）、11月7日（金）

令和7年 12月26日（金）～令和8年 1月6日（火）

令和8年 1月17日（土）

注1 その他の期間

令和7年 7月28日（月）～9月21日（日）

令和7年 12月24日（水）、12月25日（木）

令和8年 1月26日（月）～3月31日（火）

